

2020 年度（令和 2 年度）事業報告

（2020（令和 2）年 4 月 1 日から 2021（令和 3）年 3 月 31 日まで）

目次

1 公益目的事業の状況	1
(1) 資金等の資源を募り、管理・活用する事業	1
1) オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」登録団体への寄附の募集...	1
2) 財団運営への寄附	7
3) 社員参加型／顧客参加型寄附推進システムの提供・運営	8
4) 寄附基金の運営による継続的な寄附の推進	11
(2) 社会貢献活動についての情報提供、相談事業	79
(3) 寄附を推進するための普及啓発活動等に関する事業	79
1) 個人や企業等からの寄附を喚起するための事業	79
(4) 社会的活動を行う団体等に対する助成事業	79
(5) 社会的活動を行う団体等に対する表彰・顕彰事業	79
(6) 社会的活動を行う団体等に対する寄贈事業	81
(7) 社会的活動を行う団体等に対する研修事業	82
1) NPO のマネジメントコンサルティングの実施	82
2) NPO マネジメントに関する講座の運営および講師派遣	82
(8) 調査研究、情報発信、政策提言に関する事業	82
1) Panasonic NPO サポート ファンド 2018 年に助成事業を終了した団体を対象 とした成果評価	82
2) Panasonic NPO サポート ファンドの組織基盤強化助成の成果をはかる調査	83

1 公益目的事業の状況

「公1 より良い社会の形成を推進するため、資金等の資源を募り管理活用し、また社会的活動を行う団体に対して助成、顕彰等を行うほか、社会貢献活動についての調査、研究、情報発信、相談・助言等を行う事業」にかかわる個別事業の本年度事業結果を以下に報告する。

(1) 資金等の資源を募り、管理・活用する事業

広く個人や企業等からの寄附を社会的活動につなげていくもので、当財団の中心的な事業である。受け入れた寄附金を助成金として活用する側面を含めて、本項に記載する。

2020 年度に当財団が受け入れた寄附金は下記の通りである。当財団の呼びかけに賛同しご支援くださった、個人・企業の寄附者の皆様に深く感謝する。

◆寄付金	1,962,132,066 円
内訳) 現金受領	1,958,030,845 円
現物受領	4,101,221 円

1) オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」登録団体への寄附の募集

オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」を運営し、不特定多数の市民、特に初めて寄附を行う人や仕事が忙しく社会貢献活動の機会のない人などを対象に、当財団による厳正な事前審査を経た、信頼できる団体の活動情報を提供し、寄附を募った。助成先団体情報の更新、団体活動レポートの送信などを通じ、寄附者が助成先事業を共に支えていることが実感できる仕組みを提供している。

2020 年度は、グローシップパートナーズ株式会社によるプロボノ支援により、セキュリティの強化とユーザビリティの向上を兼ねて、Give One サイト全体のリニューアルを行った。ウェブサイトのスマートフォン対応、寄付プロジェクトごとのSDGsテーマ設定、寄付者が団体への寄付を自分の周囲の人などに呼び掛けることのできる「応援企画機能」、登録団体向けの管理画面の機能の大幅な向上などが実現した。

また、2020 年 2 月 26 日から 2020 年 4 月 6 日まで新規登録団体の公募を行い、審査を通過した 36 団体が新規登録団体となった。これに伴い、既存の登録団体についても、登録団体への信頼性向上のため、3 年ごとに組織の側面から審査を行う認証登録更新制とした。この第一回の認証登録の更新において、117 の既存登録団体が継続掲載となった。

登録プロジェクト数は常時変動があるものの、年度末時点での状況としては 380 前後のプロジェクト掲載となった。

2020 年度(2020 年 4 月～2021 年 3 月)のオンライン受入寄附金額(クレジットカードと

ジャパンネット銀行、Payeasy を通じた決済金額) は合計 26,836,000 円で、E-ファンドレイジングチャレンジを行った前年度と比べて約 25%減となった。

寄附申込の翌々月末に助成金の振込を行うことから、2020 年度 (2020 年 4 月～2021 年 3 月) に登録団体に対する助成した金額は、2020 年 2 月～2021 年 1 月の間に寄附の申込のあった受入寄 27,433,872 円の 85%にあたる 23,318,792 円であった。また運営管理費用として、同 15%の 4,115,080 円を充当した。

2020 年度 (2020 年 4 月～2021 年 3 月) の団体別受入寄附金額及び助成金額の実績は下記の通りである。

※受入寄附金額降順

団体名	受入寄附金額 (2020. 4～2021. 3)	助成金額 (2020 年度支払済)
Learning for All	8,671,500	7,403,925
Earth Company (アース・カンパニー)	2,660,800	2,006,340
パブリックリソース財団「Give One 寄付パッケージ」窓口	1,441,296	1,315,287
＜パッケージ寄付の内訳＞		
【新型コロナ緊急支援】ひとり親家庭等に食品を	545,805	504,734
【震災特別寄付パッケージ】被災地 3 県の 7 団体応援プロジェクト	280,000	238,850
【台風 19 号】緊急支援パッケージ	0	2,635
【東日本大震災】生活再建支援寄付パッケージ	30,000	69,700
【東日本大震災】復興ふくしま支援寄付パッケージ	2,000	3,400
九州豪雨等の被災者支援にご協力を	583,491	495,967
全国女性シェルターネット	1,363,000	1,205,300
女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	891,193	816,156
子どもの虐待防止センター	711,000	189,550
フードバンク関西	636,713	732,149
ケア・インターナショナル ジャパン	538,650	431,460
子どもセンター「パオ」	452,000	361,250
日本クマネットワーク (JBN)	387,182	335,055
地球の友と歩む会 (LIFE)	329,350	236,598
きょうとグリーンファンド	317,000	272,000
はたらく女性の全国センター (ACW2)	316,000	257,550

チャイルド・リソース・センター	303,000	251,600
フェアスタートサポート	298,000	255,000
新宿連絡会	278,000	261,800
インフォメーションギャップバスター	273,000	267,325
パレスチナ子どものキャンペーン	237,000	305,150
長野サマライズ・センター	212,000	199,750
自立支援センターふるさとの会	212,000	189,550
石西礁湖サンゴ礁基金	211,440	224,154
子どもシェルターモモ	193,000	188,700
グッドネーバーズ・ジャパン	193,000	181,050
民際センター	189,500	136,000
アムダ（AMD A）	182,186	160,808
子どもの虐待防止ネットワーク・あいち （CAPNA）	166,000	158,100
スマイリングホスピタルジャパン	151,000	162,350
日本地雷処理を支援する会（JMAS）	142,400	128,180
認定 NPO 法人フードバンク山梨	140,500	121,550
ブリッジフォースマイル	138,000	198,050
ぱれっと	130,000	124,950
芸術家と子どもたち	128,000	113,900
キッズドア	127,000	205,700
気候ネットワーク	121,000	130,050
カパティラン	113,000	51,850
RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク)	111,000	82,450
アイキャン	104,500	76,075
難民を助ける会（AAR Japan）	104,330	93,696
ピース ウィンズ・ジャパン	102,500	91,375
日本クリニクラウン協会	101,900	119,935
パノラマ	100,000	18,700
日本 IDDM ネットワーク	98,961	96,399
ジャパンハート	98,000	94,350
越谷らるご	97,728	142,637
みんなのことば	93,000	73,950
国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター	89,000	39,950

CAP センター・JAPAN	87,000	98,600
エイズ孤児支援 NGO・PLAS	87,000	26,350
ビッグイシュー基金	82,000	149,600
トゥギャザー	81,333	83,300
エバーラスティング・ネイチャー	78,000	75,650
ブリッジ エーシア ジャパン	77,000	60,350
SOS 子どもの村 JAPAN	75,773	59,732
東京シュレー	73,000	64,600
シャプラニール＝市民による海外協力の会	73,000	51,850
GrowAsPeople	73,000	29,750
ハンガー・フリー・ワールド	72,500	67,575
ウォーターエイドジャパン	60,500	49,300
リトルワンズ	60,000	49,300
ジャパン・プラットフォーム	58,000	153,000
子どもセンターぼると	57,000	53,550
もうひとつの美術館	49,000	41,650
地球市民の会	49,000	30,600
地域・教育魅力化プラットフォーム	48,000	66,300
タンザニア・ポレボレクラブ	47,000	38,250
JHP・学校をつくる会	43,000	30,600
ビーンズふくしま	40,000	48,977
フローレンス	40,000	43,350
知床自然大学院大学設立財団	40,000	42,500
公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)	39,000	28,900
霧多布湿原ナショナルトラスト	37,000	39,950
日本国際民間協力会 (NICCO)	36,620	32,827
東京 YMCA “liby (リビー)”	36,000	35,700
アトピッ子地球の子ネットワーク	35,000	40,800
おおいた環境保全フォーラム	34,073	12,750
エイブル・アート・ジャパン	33,344	20,334
緑の地球ネットワーク	33,000	34,850
こころ塾	32,000	47,600
ReRoots	30,500	34,425

hareruya／ケア・シェアリング・ポノ	30,000	0
KHJ 全国ひきこもり家族会連合会	30,000	26,350
宮古島海の環境ネットワーク	30,000	25,500
PHD 協会	30,000	8,500
JUON NETWORK（樹恩ネットワーク）	29,500	48,875
さいたまユースサポートネット	29,070	16,210
高木仁三郎市民科学基金	28,000	25,500
アムネスティ・インターナショナル日本	28,000	22,100
石巻復興支援ネットワーク	28,000	21,250
CODE 海外災害援助市民センター	26,000	39,100
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター	24,000	34,000
日本国際ボランティアセンター（JVC）	23,520	15,742
箕面こどもの森学園（コクレオの森）	23,476	19,955
難病の子どもとその家族へ夢を	23,000	19,550
いるか	22,000	18,700
ぴいかあぶう	22,000	18,700
チャイボラ	22,000	15,300
フィリピン日系人リーガルサポートセンター	22,000	13,600
リソースセンターone	21,000	29,750
シマフクロウ・エイド	21,000	17,850
トラ・ゾウ保護基金	20,000	15,300
公益財団法人 国際医療技術財団	20,000	8,500
日本芸能実演家団体協議会	20,000	8,500
発達わんぱく会	18,891	16,057
レイプクライシスセンターTSUBOMI	18,000	22,950
病気の子ども支援ネット 遊びのボランティア	18,000	22,100
シャンティ国際ボランティア会	18,000	18,700
PIECES	18,000	12,750
多言語社会リソースかながわ	17,000	24,650
アジア・アフリカと共に歩む会	17,000	16,150
白神山地を守る会	17,000	12,750
国際環境 NGO FoE Japan	16,000	21,250
楽の会リーラ	16,000	13,600

まちぽっと	15,000	12,750
モザンビークのいのちをつなぐ会	15,000	12,750
日本教育再興連盟	15,000	11,050
こどもコミュニティケア	14,000	25,500
たんぽぽの家	14,000	16,150
しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西	13,000	20,400
あおもり NPO サポートセンター	12,000	11,900
Hands On Tokyo	12,000	11,900
DPI 日本会議	11,000	10,200
日本生態系協会	11,000	9,350
めぐはうす 地域生活支援センターMOT A	10,000	8,500
トージバ	10,000	8,500
ふよう土2100	10,000	8,500
TeachForJapan	10,000	8,500
アクセプト・インターナショナル	10,000	4,250
芸術と遊び創造協会	8,271	7,880
エッジ	8,000	13,600
5years	8,000	11,050
アジア協会アジア友の会	8,000	2,550
女性の安全と健康のための支援教育センター	7,000	34,850
遠野まごころネット	7,000	17,850
環境＝文化NGO ナマケモノ倶楽部	7,000	7,650
サンクチュアリ エヌピーオー	6,000	5,100
CIESF	6,000	5,100
エンパワリング ブレストキャンサー	6,000	5,100
棚田 LOVER' s	5,000	0
日本点字図書館	5,000	11,900
野生生物保全論研究会	5,000	8,500
みらいの森	5,000	7,225
e-Education	5,000	5,950
チャイルドラインあいち	5,000	5,950
神戸定住外国人支援センター (KFC)	5,000	4,250
メコン・ウォッチ	5,000	4,250
インド福祉村協会	5,000	4,250

大雪山自然学校	5,000	4,250
more trees	5,000	4,250
ACE	4,000	6,800
e-MADO 病気のこどもの総合ケアネット	4,000	6,800
日本フィランソロピー協会	4,000	4,250
桜ライン 311	3,000	23,800
アレルギー支援ネットワーク	3,000	4,250
響愛学園	3,000	4,250
日本ウミガメ協議会	2,000	3,400
樹木・環境ネットワーク協会	2,000	3,400
楠の木学園	1,000	850
チャンス・フォー・チルドレン	1,000	850
チャリティーサンタ	1,000	850
彩結び	0	2,975
「みのお山麓保全ファンド」	0	1,700
ゆるら	0	850
アイサーチ・ジャパン	0	850
緑と水の連絡会議	0	850
合計	26,836,000	23,318,792

クレジットカード、ペイジーおよびジャパンネット銀行以外の決済手段による、Give One（ギブワン）登録団体に対する寄附は 9,000,000 円だった。2020 年度受け入れ寄附については 2021 年度に助成を実施する予定である。

寄附者名	受入寄附金額
個人（1 件）	9,000,000
合 計	9,000,000

2) 財団運営への寄附

当財団の賛助会費（運営費 100%）は、1,050,000 円だった。

また、財団指定寄附（事業費及び運営費 各 50%）は、4,959,086 円だった。

3) 社員参加型／顧客参加型寄附推進システムの提供・運営

<寄附付き年賀状>

寄附金付き年賀状の企画は株式会社プリプレス・センターと協働して、2014 年版年賀状（当財団 2013 年度）から実施している。年賀状に支援先を明記するために、年賀状の販売開始に先立ち、2014 年度に助成先に関する選考委員会を開催し本年賀状のデザインで採用される障がい者アートの活動（一般財団法人たんぽぽの家 エイブルアート・カンパニー）を助成先として決定した。2020 年度は、2020 年版年賀状販売による寄附金（40,535 円）をもとに、34,455 円の助成を実施した。

受入寄附金額	40,535 円
助成額	34,455 円
公募	公募実施せず（継続助成）
審査会	2014 年 7 月 11 日 ～ 17 日（書面による持回り開催）
選考委員	秋葉 武（立命館大学産業社会学部 教授） 伊藤 隆（世界文化フォーラムアライアンス 日本幹事） 槇 ひさ恵（特定非営利活動法人ニンジン 常務理事）
審査結果	一般財団法人たんぽぽの家 エイブルアート・カンパニー
助成期間	2020 年 4 月 ～ 2021 年 3 月

<東北 3.11 基金>

福島、宮城、岩手の子どもたちをめぐる課題を解決し、子どもたちが自らの力で未来を切り開いていく活動を支援する基金である。認定特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会の管理する寄附金つき飲料自動販売機の売り上げから、2020 年度は、1,331,482 円の寄附を受け入れ、3 団体に対し合計 1,314,000 円を助成した。

受入寄附金額	1,331,482 円
助成額	1,314,000 円
公募	2020 年 8 月 17 日 ～ 9 月 16 日
審査会	2020 年 10 月（オンラインでの審査会）
審査委員	秋葉 武（立命館大学産業社会学部 教授） 臼井 清（合同会社志事創業社 代表） 槇 ひさ恵（特定非営利活動法人 ニンジン 常務理事）

審査結果	以下の 3 団体を決定 特定非営利活動法人 ふくしま30年プロジェクト 北上 まちかど保健室 一般社団法人 ワタママスマイル
助成期間	2020年 11 月 1 日 ～ 2021 年 10 月 31 日

<魚沼の未来基金>

本基金は、塩沢信用組合と協働して、魚沼地域の未来を切り拓く人材や団体を支援し、地域の誰もがいきいきと暮らせるふるさと魚沼を、将来にわたって継承・発展させることを目的として設立した。

本基金は、信用組合が組合員に呼びかけて寄附を募り共に地域に貢献するという、金融機関が「社会貢献のプラットフォーム」を提供する日本初の取り組みである。

ご寄附は「はばたき奨学金」（返済不要の高校生向け奨学金制度）に活用され、新 1 年生一人当たり 96,000 円（入学準備金 36,000 円、月例奨学金 60,000 円（5,000 円×12 か月））、新 2、3 年生は 60,000 円（月奨学金 60,000 円（5,000 円×12 か月））を支給している。

2020 年度は 8,275,264 円の寄附を受け入れた。

また、「第五期はばたき奨学金」対象者として、魚沼地域のひとり親家庭の子女 48 名（新 1 年生 11 名・新 2 年生 23 名・新 3 年生 14 名）の奨学生の選定を行った。

2020 年度の奨学金支給は、第四期奨学生 54 名に対して月例奨学金、第五期奨学生のうち新 1 年生に入学準備金を支給した。

受入寄附金額	8,275,264 円
助成額	第四期：3,270,000 円 第五期：396,000 円（新 1 年生に対する入学準備金のみ） 卒業祝金：160,000 円（10,000 円×16 人） 合計：3,826,000 円
公募	2020 年 10 月 1 日～10 月 30 日
応募	48 件
審査会	2021 年 1 月 28 日
選考委員	寺尾 仁（新潟大学工学部建設学科 准教授） 林 茂男（南魚沼市長） 内田 幹夫（魚沼市長） 小野澤 一成（塩沢信用組合 理事長）
審査結果	48 人を奨学生として選定

助成期間	2020 年 3 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日
------	----------------------------------

<大和証券グループ サンタチャリティープログラム>

同プログラムは、大和証券グループの社員による寄附を原資とし、社会的養護にいる子どもたちや NPO 等の支援を受けるひとり親家庭やその子どもたちに対して、NPO 等の団体を通じてクリスマスシーズンにおもちゃ、ケーキなどをプレゼントする基金である（本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からケーキのプレゼントは中止した）。

2020 年度は、12,635,648 円の寄附を受け入れた。

審査委員会により 33 件の団体が採択され、おもちゃセットとお菓子セットを寄贈した。

受入寄附金額	12,635,648 円
寄贈数	おもちゃセット：120 セット お菓子セット：2,682 セット
公募	2020 年 11 月 5 日 ～ 2020 年 11 月 16 日
応募件数	33 団体
審査会	2020 年 12 月 7 日 ～ 2020 年 12 月 12 日（メールによる持ち回り審査）
選考委員	小河 光治（公益財団法人あすのば 代表理事） 岸本 幸子（公財団法人パブリックリソース財団 専務理事） 吉田 光太郎（株式会社大和証券グループ本社経営企画 部長）
寄贈先選定結果	沖縄県マザーズスクエアゆいはあと 沖縄県マザーズスクエアゆいはあと中部 沖縄県マザーズスクエアゆいはあと北部 沖縄県マザーズスクエアうるはし 浦添市母子生活支援施設浦和寮 NPO 法人エンカレッジ 公益社団法人那覇市母子寡婦福祉会 NPO 法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄 一般社団法人サポートセンターHOPE 認定 NPO 法人ふーどばんく OSAKA グリーンヒル相模原 社会福祉法人厚生館 厚生館立花 社会福祉法人昭徳会 若松寮 公益社団法人慈友会 慈友学園 社会福祉法人名古屋文化福祉会 キンダーホルト 社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会 愛知しらゆり荘

	社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会 愛知昭和荘 認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ NPO 法人女性ネット Saya-Saya NPO 法人 Mama's café 認定 NPO 法人ファミリーハウス NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク ふくしまこども食堂ネットワーク 認定 NPO 法人エデュケーションエキューブ NPO 法人青少年の居場所 Kiitos NPO 法人キッズドア “がきんちょ” ファミリー 新潟県フードバンク連絡協議会 社会福祉法人親和会 NPO 法人フードバンクにいがた NPO 法人ビーンズふくしま 一般社団法人 Mother Tree ライトハウス新宿チャーチ (J Mate)
--	---

4) 寄附基金の運営による継続的な寄附の推進

今期は下記の基金を運営した。

<未来につなぐふるさと基金>

同基金は、キャノンマーケティングジャパン株式会社が使用済みカートリッジの回収本数と PPC 用紙（コピー紙）の販売数に応じ同社が実施する寄附や、古本の回収等による一般からの寄附も受け付けている。同基金への 2020 年度寄附受け入れ額は 10,714,116 円だった。

2019 年度に採択された 5 団体については、2020 年 12 月に継続審査を行い、継続助成（助成期間：2020 年 1 月～2020 年 12 月）を決定し、2,381,000 円を助成した。また、2021 年 3 月に新規助成団体の審査を行い、5 団体を採択し（助成期間：2021 年 4 月～2021 年 12 月）、2,500,000 円を助成した。

2020 年度の助成先である 10 団体において、生物多様性の保全を促す 42 の市民参加型プログラムが実施され、1,044 名の市民が参加した。また、キャノンマーケティングジャパン株式会社が助成先団体において実施する写真教室（機材と講師の無料提供）に協力し、合計 7 回実施した。加えて、助成先団体の組織運営力の向上を目的とした組織診断や広報ワークショップ等の、運営面での支援を行った。キャノンマーケティングジャパン株式会社が生物

多様性の啓発を目的として開設した「未来につなぐふるさとプロジェクト」のサイトに掲載するためのコンテンツの収集に協力し、公益財団法人日本自然保護協会と協力して、生物多様性の専門的見地からのコメントを作成した。

2021 年 3 月に予定していた報告会は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策の影響により 2020 年 3 月出席予定であった団体も合わせた 15 団体で、オンラインにより 2 回にわたり開催した。

受入寄附金額	10,714,116円
助成額	4,831,000 円（2021 年度分を2020年度に助成）
公募	2020 年 11 月 30 日 ～ 2021 年 1 月 18 日（新規団体のみ）
審査会	2020 年 12 月：2019 年助成の継続審査（メールによる持ち回り審査） 2021 年 3 月 29 日：2021年助成の審査
審査委員	小川 潔（東京学芸大学名誉教授） 三好 紀子（公益財団法人日本自然保護協会 自然のちから推進部） 村上 千里（公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、環境委員会副委員長） 我妻 充史（キヤノンマーケティングジャパン株式会社 企画本部 サステナビリティ推進部 部長）
審査結果	継続助成（5団体） 一般社団法人 風土人 一般財団法人 C.W. ニコル・アフアの森財団 NPO法人 持続可能な開発のための教育推進会議 ウェットランドフォーラム NPO法人 中池見ねっと 新規助成（5団体） NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム のまはら 一般社団法人 自然再生と自然保護区のための基金 NPO法人 Peace & Nature NPO法人 グラウンドワーク三島
助成期間	継続 2021 年 1 月 1 日 ～ 2021 年 12 月 31 日 新規

	2021 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 12 月 31 日
--	-----------------------------------

＜大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金＞

同基金は、株式会社大和証券グループ本社の持続可能な社会の実現に向けて貢献する活動の一環として、子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に創設された基金である。同基金では、子どもの人生への意欲を育み将来の貧困リスクを低減する先駆的な事業をとりあげ、効果的で継続的なものとするための事業開発を支援し、子どもの貧困対策におけるイノベーションを推進している。

同基金の助成金プログラムは、1 団体につき初年度 300 万円程度、2 年度目 300 万円程度、3 年度目 300 万円程度、総額 900 万円程度を支給する。なお、継続支援には 1 年毎の審査が行われる。

2020 年度は 16,675,480 円の寄附を受け入れ、審査会にて継続支援 4 団体を選定した。

受入寄附金額	16,675,480 円
助成額	13,400,000 円
審査会	審査会：2020 年 11 月 24 日
審査委員	萩原 なつ子（立教大学社会学部・同大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授、認定 NPO 法人日本 NPO センター 代表理事） 赤石 千衣子（特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長） 小河光治（公益財団法人あすのば 代表理事） 川那部留理子（株式会社大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs 推進室長） 柴沼俊一（株式会社シグマクシス 常務執行役員）
審査結果	以下の 4 団体を決定 認定特定非営利活動法人 エデュケーションエーキューブ 認定特定非営利活動法人 D×P 特定非営利活動法人 パノラマ 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート
助成期間	2021 年 1 月 1 日 ～ 2021 年 12 月 31 日

＜大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金＞

同基金は、新型コロナウイルスのような感染症の流行や、昨今の豪雨災害、また今後予期される首都直下型地震・南海トラフ地震等の自然災害の発生時においても、子どもが必要な支援を継続的に受けることができるよう、子ども支援団体が平時より団体運営の持続可能性とレジリエンスを高めることを応援するものである。なお、2020 年 6 月に発行した社債

「大和証券グループ未来応援ボンド」の手取金の一部を、本基金への寄付金に充当している。

同基金の助成金プログラムは、1 団体につき 350 万円の助成金を支給する。2020 年度は 3 件、35,199,455 円の寄附を受け入れ、審査会にて 8 団体を選定した。

受入寄附金額	35,199,455 円
助成額	24,735,400 円
審査会	一次審査会：2020 年 12 月 8 日 二次審査会：2020 年 12 月 22 日
審査委員	中村 陽一（立教大学 21 世紀社会デザイン研究科 教授） 奥山 千鶴子（認定 特定非営利活動 法人びーのびーの 理事長） 川那部 留理子（株式会社大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs 推進室長） 柴沼 俊一（株式会社シグマクシス 常務執行役員） 米田 佐知子（子どもの未来サポートオフィス 代表）
審査結果	以下の 8 団体を決定 特定非営利活動 法人アスクネット 特定非営利活動 法人サンカクシャ 認定 特定非営利活動 法人 3keys 認定 特定非営利活動 法人 D×P 特定非営利活動 法人トイボックス 特定非営利活動 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 認定 特定非営利活動 法人 PIECES 特定非営利活動 法人フェアスタートサポート
助成期間	2021 年 1 月 1 日 ～ 2021 年 12 月 31 日

<ゴールドマン・サックス基金>

ゴールドマン・サックス証券株式会社（GS）の持田昌典社長のイニシアチブで創設された基金であり、子どもの貧困問題に取り組む団体を支援している。持田社長は米国の大学で学んで飛躍した自身の経験から、「教育を受けるチャンスがあることは重要だ」と基金の創設を行った。

同基金では、Give One（ギブワン）登録団体の中から、NPO 法人「Learning for All（LFA）」（東京都新宿区、李炯植代表理事）を選択し、同団体が展開する学習支援などのプログラムに、3 年間で計約 4 億円を助成するものである。延べ約 750 人の子どもたちへの教育支援を目指し取り組んできた。

2020 年度は、142,096,174 円の寄附を受け入れ、LFA に対し 118,272,421 円を助成した。

LFA は、助成金をもとに、2020 年度は各拠点で活動を継続し、コロナ禍で困難度を深める子ども達とその家族のために、いち早くオンライン学習を取り入れ、食糧支援に取り組むなどして活動を展開した。またプロジェクト最終年度にあたることから、「つながり・育ち・学びの環境を包含したセーフティネットを地域に作り、全国に展開すること」を目的として、これまで培ってきたノウハウや経験をコンテンツ化し横展開するためのサイト整備にも取り組んだ。

2020 年 3 月 4 日に LFA より GS に対し、オンラインによる 3 年間の振り返りと成果報告会が行われ、3 年間で 1724 名の子ども達に支援を行い、また LFA の学習支援を行うことによって子どもたちの学力向上が見られたといった成果が報告された。

受入寄附金額	142,096,174 円
助成額	118,272,421 円
受益者数	年約 235 人

<緊急災害支援基金>

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社より、災害が起こった際に会社として緊急に募金するための基金を立ち上げたいとの相談を受けた。Give One (ギブワン) の登録団体を助成の対象とすることで迅速な資金支援を行うことを提案し、基金の仕組みを協働で開発した。2020 年度は、2020 年 7 月 4 日に発生した九州豪雨災害への緊急支援を実施している 2 団体に、各 50 万円を助成した。また、緊急時に備えたプール金として、3,000,000 円の寄付を受け入れた。

受入寄附金額	3,000,000 円
助成額	1,000,000 円
助成対象団体	特定非営利活動法人 難民を助ける会 特定非営利活動法人 ジャパンハート

<東京海上日動キャリアサービス 働く力応援基金>

当基金は、様々な理由で働くことに困難を抱える方々を、働きがいのある就労につなげ、インクルーシブな世界の実現を図ることを目的に、株式会社東京海上日動キャリアサービスからの寄付をもとに創設された。本基金では、全ての人が自分で職業を選ぶことができる社会、働く権利を保障される社会を目指し、「働くを求める人」の就労を促進し、社会課題の解決を行う就労支援の NPO 等に対し、助成を行う。

総額 150,000,000 円の寄付を受入れ、2021 年度から 3 年間助成事業を継続して行うこととし、2020 年度は 1 年目の公募のみを行った。なお、助成金の交付及び助成事業開始は 2021

年度からとなる。

受入寄附金額	150,000,000 円
公募	2021 年 3 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 26 日
応募	88 件
助成期間	2021 年 6 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日

<ふくしま未来基金>

「ふくしま未来基金」は福島県内の篤志家及び地域貢献を目指す企業からの寄附で創設された地域基金である。基金創設時に受け入れた大口寄附をもとに運営を行っている。

2020 年度は、一般財団法人ふくしま未来研究会や一般社団法人ふくしま連携復興センターなど、複数の福島市内の中間支援組織や専門家と連携しながら、「未来づくり助成（1 年 300 万円+コンサルタント支援 50 万円相当、2 年間継続助成）」「まちづくり草の根助成（単年度支援 100 万円）」の二つの助成プログラムを実施した。福島市内を中心とする 11 団体（内 1 団体は 2019 年度からの継続）に総額 11,833,000 円を助成した。

同基金では、資金助成だけでなく、経営支援を行うことを重視している。「まちづくり草の根助成」の助成団体に対して、受け入れ条件が合致する団体については、組織診断を実施した。

なお、2020 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、前年度まで実施していた「専門家派遣」「NPO マネジメントコンサルタント養成講座」「ふくしま志高塾」は実施しなかった。

助成額	11,833,000 円（総額） ※前年度以前受け入れ寄附分も含む
公募	2020 年 3 月 1 日 ～ 4 月 5 日
応募件数	42 団体
審査会	未来づくり助成 継続審査会：2020 年 5 月 26 日 まちづくり草の根助成 一次審査会：2020 年 7 月 6 日（月） 同 二次審査会：2020 年 7 月 29 日
選考委員	永倉 禮司（福島大学学長参与） 鷹野 秀征（弊財団理事 復興庁上席政策調査官） 中鉢 博之（NPO 法人ビーンズふくしま 理事） 萩原 なつ子（立教大学社会学部・同大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授、認定 NPO 法人日本 NPO センター 代表理事） 紅邑 晶子（オフィス Beni 代表）
選定結果	<未来づくり助成>

	特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ <まちづくり草の根助成> いわき・双葉の子育て応援コミュニティ cotohana 特定非営利活動法人 0073（おおなみ） 認定特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ 一般社団法人 子育て支援コミュニティ プチマママン 特定非営利活動法人 しんせい しんちの子育て考え隊 特定非営利活動法人 野馬土 一般社団法人 福島県助産師会 ベルフォンテ ポレポレ-ねうぼらふくしま-
助成期間	未来づくり助成：2020 年 6 月 1 日 ～ 2021 年 5 月 31 日 まちづくり草の根助成：2020 年 8 月 1 日 ～ 2021 年 7 月 31 日

<あい基金>

すべての女性が自らの力で人生を選択できる社会を目指し、経済的自立など女性にまつわる課題解決に取り組む事業を支援する、女性のための基金「あい基金」を運営している。

2020 年度は合計 95,711 円の寄附を受け入れたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、2019 年度に立ち上げた“あい基金ギビング・サークル”のメンバーによる現地視察を行うといった活動を行うことはリスクが高いと判断し、活動休止とした。

2021 年 3 月 19 日（金）には、あい基金ギビング・サークルのメンバーを対象に、オンラインによる 2019 年度に採択した下記 2 団体からの活動報告会を行った。

- ・一般社団法人 コミュニティスペース うみねこ
- ・一般社団法人 tenten（ベルフォンテ）

<I.H.K 基金>

同基金は、将来の医療福祉分野での活躍を願って、東京都内の児童養護施設または里親宅で暮らしている児童（女子）が高校卒業後に進学する授業料を助成し、児童の社会的自立を支援することを目的に設立された。専門教育機関を卒業するまで一人当たり総額 100 万円の返済不要の奨学金を支給している。また、認定特定非営利活動法人ブリッジフォースマイルと連携し、就学期間中、対象者に若い社会人ボランティアを派遣し、社会的自立に向けて、近い年齢層からの相談しやすい環境を提供していく。

2020 年度は 1,580,000 円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、1 名の奨学生を選定し、1 年目の奨学金として 400,000 円を支給した。

受入寄附金額	1,580,000 円
総助成金額	1,150,000円
公募	2020 年 4 月 1 日 ～ 5 月 29日
応募	1 件
審査会	2020 年 7 月 5 日
選考委員	小園 弥生（横浜市男女共同参画センター横浜南 管理事業課長） 山北 洋二（あしなが育英会 顧問） 岸本 幸子（公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事）
審査結果	1人を奨学生として選定
助成期間	2021 年 3 月 29 日 ～ 2023 年 3 月 31 日

<ゆーじチャレンジ基金>

同基金は、将来の医療福祉分野での活躍を願って、静岡県内の児童養護施設または里親宅（ファミリーホーム含む）で暮らしている児童が高校卒業後に進学する授業料を助成し、児童の社会的自立を支援することを目的に設立された。一人当たり総額 100 万円の返済不要の奨学金を支給する。

2020 年度は 1,270,000 円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、1 名の奨学生を選定し、1 年目の奨学金として 250,000 円を支給した。

受入寄附金額	1,220,000 円
総助成額	500,000円
公募	2020 年 4月 1日～5月 29 日
応募	1 件
審査会	2020 年 7月 18 日
選考委員	小野田全宏（静岡県ボランティア協会市民活動センター 理事長） 日詰一幸（静岡大学 人文社会科学部長） 岸本幸子（公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事）
審査結果	1 人を奨学生として選定
助成期間	2021年 3 月 1 日～2025年 3 月 31 日

<謝縁教育基金>

「自身が生きてくる中で、多くの皆様からいただいたご恩を次の世代に送り、自分が人生で大切にしてきた志を次の世に遺したい。」という寄付者の想いにより 2019 年度に設立された。当基金は、困難を抱える若者への教育支援や、不登校や発達障害の若者の居場所づくりに取り組む NPO 法人等の活動を支援することを目的としており、Give One（ギブワン）に登録されている審査済みの団体から、1 団体あたり 50 万円を 6 年間、合計 6,000,000 円の資金助成を行う予定である。

2020 年度には、オンライン寄付サイト Give One（ギブワン）を通じて本基金へ 50,000 円の寄附を受け入れた。また、同基金の目的に合致する活動を行っている下記 2 団体を選出し、助成を行った。

受入寄附金額	50,000円
助成額	1,000,000 円
助成対象団体	特定非営利活動法人 Learning for All 特定非営利活動法人 楠の木学園
助成期間	2020 年 4 月 ～ 2026 年 3 月

<移民・難民支援基金>

当基金は、日本国内の難民、移民、技能実習生、外国人労働者とその家族など、外国籍または外国にルーツをもつ人々への支援を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し、資金助成をはかり、その活動を支援することを目的として創設された。2020 年度は、400 万円の寄付を受入れ、1 団体あたり 40～60 万円の資金助成を行い、全 6 団体に対して合計 320 万円の資金助成を実施した。

受入寄附金額	4,000,000 円
助成額	3,200,000 円
公募	2020 年 9 月 1 日 ～ 2020 年 9 月 30 日
応募	26 件
審査会	2020 年 11 月 17 日
選考委員	田村 太郎（一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事） 鈴木 江理子（国士舘大学文学部 教授） 杉本 大輔（全国難民弁護団連絡会議事務局）

審査結果	以下 6 団体を決定。 特定非営利活動法人 J F C ネットワーク 福島移住女性支援ネットワーク クルド日本語教室 特定非営利活動法人 北関東医療相談会 RAFIQ 特定非営利活動法人 名古屋難支援室
助成期間	2020 年 12 月 1 日 ～ 2021 年 11 月 30 日

<高山弘子基金>

当基金は、個人からの遺贈により 2018 年度に 55,250,000 円の寄付を受け、創設されたオリジナル基金である。寄付者の生前の遺志に従って、「恵まれない環境を余儀なくされた子ども達」のために役立てるために、貧困により生活に困難を抱えている子どもやその家庭に対して支援を行う NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、その活動を支援することを目的としている。

2020 年度は、Give One（ギブワン）に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている全ての団体を選出し、全 14 団体に対して、1 団体あたり 50 万円、合計 7,000,000 円の資金助成を行った。

当助成金の使途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、同基金の残高が無くなるまで、全国の恵まれない環境を余儀なくされた子ども達のために、幅広い分野で役立てられる。

受入寄附金額	0円
助成額	7,000,000 円
助成対象団体	Give One登録団体から以下の14団体を選出し、交付決定した。 認定特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン 認定特定非営利活動法人 フードバンク山梨 特定非営利活動法人 いるか 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま 特定非営利活動法人 キッズドア 特定非営利活動法人 Learning for All 認定特定非営利活動法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ

	認定特定非営利活動法人 越谷らるご 認定特定非営利活動法人 フローレンス 特定非営利活動法人 ピアサポートネットしゅや 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート 特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル 認定特定非営利活動法人 SOS子どもの村JAPAN 特定非営利活動法人 リトルワンズ
助成期間	2021 年 1 月 1 日 ～ 2021 年 12 月 31 日

<ビックブリッジ基金>

当基金は、海洋プラスチックゴミ問題に関連する環境保全活動や一般啓発活動を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、その活動を支援することを目的として、2019 年度に 1,000,000 円の寄付を受け創設された。2020 年度は、Give One（ギブワン）に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている下記 1 団体に対して 17 万円の資金助成を行った。

当助成金の使途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、5 年間継続して、海洋プラスチックゴミ問題の活動支援のために役立てられる。

受入寄附金額	0円
助成額	170,000 円
助成対象団体	Give One登録団体から以下の1団体を選出し、交付決定した。 特定非営利活動法人 おおいた環境保全フォーラム
助成期間	2021 年 2 月 1 日 ～ 2022年 1 月 31 日

<じゅんき教育基金>

当財団では、税制改正（租税特別措置法）により公益財団法人を含む一定の法人が不動産等の現物寄付を受け入れることへの制約が緩和されたところ、その要件である一定の基金を、現物資産等寄付基金規程の制定とともに設置の上、同基金に対する公益認定等委員会の証明を取得していた。

原則としては寄付者が負うこととなるみなし譲渡所得（当該資産の寄付時の時価額と取得価額の差額）課税の非課税申請について、従来の一般特例の他に、上記の基金内で寄付財産を管理・運用することを条件とする承認特例が定められた。

寄付を受けた不動産を有価証券に買い換えて、その運用益を公益目的事業に充当することが可能となった。

上記の緩和内容が適用されることを前提に、相続する不動産を寄付したいとする寄付者から相談があり、当該不動産の寄付を受け入れるに至った。受入後、当該不動産から有価証券への買換えを行い、有価証券による運用を開始した。

<遺贈による M 基金（仮称）の創設>

都内の寄付者から遺贈（総額 123,558,801 円）を受け入れ、運用型の基金を創設した。生前のご希望に従い、運用益は、2021 年度以降において、遺贈者が長年操業していた地域で、関連する人々及び地域の社会福祉、文化の興隆、経済の振興に資することを目的に活用される予定である。

<匿名基金 A>

当基金は、個人からの寄付により創設したオリジナル基金である。コロナ禍において社会的に最も弱い立場にある子どもたちを守るために活動に取り組む NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、社会的弱者である子どもの生命と暮らしと未来を守ることを目的として創設された。

2020 年度は、Give One（ギブワン）に登録されている子ども支援団体のうち、コロナ禍で支援を必要とする子どもと家族に対して国内でサービスを提供している団体を選出し、下記 34 団体に対して 45,000,000 円の資金助成を行った。

当助成金の使途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、コロナ禍で深刻な影響・被害を受けている子どもの支援に幅広く役立てられている。

受入寄附金額	50,000,000 円
助成額	45,000,000 円
公募	2021 年 12 月 9 日 ～ 2021 年 1 月 5 日
応募	34 件
審査会	2021 年 1 月 18 日
選考委員	渡辺元（公益財団法人助成財団センター 理事） 西田治子（一般社団法人 Women Help Women 代表理事） 米田佐知子（子どもの未来サポートオフィス 代表）
助成対象団体	IMADATE ART FIELD 認定 NPO 法人 発達わんぱく会 特定非営利活動法人 ぴいかあぶう 特定非営利活動法人 子どもセンター「パオ」 NPO 法人 神戸定住外国人支援センター 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま NPO 法人 リトルワンズ

	NPO 法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ 認定特定非営利活動法人 Teach For Japan NPO 法人 楠の木学園 特定非営利活動法人 越谷らるご 認定特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク 特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター NPO 法人 エッジ 認定 NPO 法人 PIECES NPO 法人 いるか 認定 NPO 法人 フードバンク山梨 カパティラン NPO 法人 いわき放射能市民測定室（たらちね） NPO 法人 パノラマ 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を 特定非営利活動法人 CAP センター・JAPAN 認定 NPO 法人 CPAO 特定非営利活動法人 せんだいこども食堂 NPO 法人 インフォメーションギャップバスター 認定 NPO 法人 アトピッ子地球の子ネットワーク NPO 法人 アクセプト・インターナショナル 特定非営利活動法人 日本教育再興連盟 特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク 公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン NPO 法人 ピルコン NPO 法人 みんなのことば NPO 法人 棚田LOVER's NPO 法人 ピアサポートネットしぶや
助成期間	2021 年 1 月 22 日 ～ 2021 年 7 月 30 日

<NOBUKO 基金>

当基金は、相続財産からの寄付により創設されたオリジナル基金である。故人の遺志に従って、困難な状況を生きる子どもたちが困難を乗り越え、それぞれの可能性を最大限に伸ばせるように支援を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、困難を抱える子どもや家庭に育つ子どもたちを支援することを目的としている。

2020 年度は、公募を実施した。審査・選定・助成金の交付及び助成事業開始は 2021 年度からとなる。なお、本事業の実施期間は 2023 年度までとなる。

受入寄附金額	50,000,000 円
--------	--------------

<女性リーダー支援基金（仮称）>

日本における意思決定過程への女性の一層の参画を通じ、女性の社会的地位の向上を図ることをめざし、相続財産からの寄付に基づき、創設されたオリジナル基金である。2021年度以降、女性リーダーシップ開発やビジョンの実現の支援に活用される予定である。

受入寄附金額	40,000,000 円
--------	--------------

<高田弘子基金>

当基金は、個人の意志に基づき 2019 年度に設立されたオリジナル基金である。日本政府に対して難民申請中の児童が、日本の専門学校や大学等の高等教育を受けるための奨学金を給付することを目的に創設された。2020 年度は、審査会により 2 名の奨学生が決定した。

受入寄附金額	1,000,000 円
総決定金額	1,600,000 円 (奨学生 1 人に対して800,000円)
助成額	1,600,000 円
公募	2020 年 9 月 16日～10月 19 日
応募	2 件
審査会	2020 年 11月 29 日
選考委員	鈴木 江理子（国士舘大学文学部 教授） 杉本 大輔（全国難民弁護団連絡会議事務局） 岸本幸子（パブリックリソース財団 代表理事・専務理事）
審査結果	2 人を奨学生として選定
助成期間	2021年 3 月

<ゴールドマン・サックス 緊急子ども支援基金>

当基金は、ゴールドマン・サックス社からの寄付をもとに、新型コロナウイルス流行による非常事態下において、緊急事態に追い込まれている経済的に困難な状況下の子どもやその家庭に支援を届ける活動を行う非営利団体に対して、スピーディーな支援を届けるために緊急助成を行うことを目的に創設された。

新型コロナ対応の第 1 フェーズとして、上記を目的に助成事業を実施した後、第 2 フェーズとして、経済的困難、虐待やDV等のリスク、不登校児、様々な障がいを抱えている子ども、外国にルーツを持つ子どもといった複合的な困難を抱える子どもやその家庭を対象

に、心のケアの充実を支援することを目的に2回目の助成事業を実施した。

2020年度は150,010,250円の寄附を受け入れ、第1フェーズとしての公募では、審査会にて51団体を選定し、1団体あたり上限200万円、総額87,446,203円の資金助成を実施した。

また、第2フェーズとしての公募では、審査会にて23団体を選定し、1団体あたり上限300万円、総額52,063,329円の資金助成を実施した。

【第1フェーズにおける公募結果】

助成額	87,446,203 円
公募	2020 年 4 月 13 日 ～ 2020 年 4 月21 日
応募	306 件
審査会	2020 年 5 月 1 日
審査委員	山岡 義典（法政大学名誉教授、助成財団センター 理事長） 小河 光治（公益財団法人あすのば 代表理事） 岸本 幸子（公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事）
審査結果	以下の51団体を決定。 社会福祉法人 子供の家 アフターケア相談所ゆずりは NPO法人 サステナブルネット 一般社団法人 シンママ大阪応援団 一般社団法人 栃木県若年者支援機構 NPO法人 ウィメンズネット・マサカーネ KAKECOMI NPO法人 アスイク 認定NPO法人 Kacotam あさひ子ども見守りネットワーク NPO法人 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ NPO法人 Learning for All NPO法人 子育てパレット NPO法人 インクルいわて NPO法人 パルシク NPO法人 地域子ども共育ステーションハッピーサークルサイクル NPO法人 BONDプロジェクト 認定NPO法人 Living in Peace 認定NPO法人 3keys NPO法人 エンカレッジ

	公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会 認定NPO法人 ふーどばんく OSAKA NPO法人 育て上げネット 認定NPO法人 SOS子どもの村JAPAN NPO法人 フードバンクかごしま 認定NPO法人 CPAO NPO法人 キャンピズ(平野みんな食堂ネットワーク) 一般社団法人 ハイコラ NPO法人 グッドネーバーズ・ジャパン NPO法人 青少年自立援助センター 認定NPO法人 D×P NPO法人 ユースコミュニティー NPO法人 西成チャイルド・ケア・センター NPO法人 抱樸 NPO法人 ビーンズふくしま 認定NPO法人 セカンドハーベスト・ジャパン NPO法人 チュラキューブ NPO法人 ライツオン・チルドレン NPO法人 eワーク愛媛 認定NPO法人 ハーモニーネット未来 公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン 社会福祉法人 三愛学園 認定NPO法人 山口せわやきネットワーク 認定NPO法人 フローレンス 新潟県フードバンク連絡協議会 認定NPO法人 PIECES NPO法人 ダイバーシティ工房 NPO法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク NPO法人 子育てネットひまわり NPO法人 フリースクール クレイン・ハーバー NPO法人 コミュニティサポートスクエア NPO法人 アメラジアンスクール・イン・オキナワ
助成期間	2020 年 5 月 1 日 ～ 2020 年 11 月 30 日

【第2フェーズにおける公募結果】

助成額	52,063,329円
-----	-------------

公募	2020 年 8 月 31 日（月）～2020 年 9 月 14 日（月）
応募	125件
審査会	2020年10月13日（火）
審査委員	山岡 義典（法政大学名誉教授、助成財団センター 理事長） 小河 光治（公益財団法人あすのば 代表理事） 岸本 幸子（公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事）
審査結果	以下、23団体を採択。 一般社団法人 シンママ大阪応援団 特定非営利活動法人ビーンズふくしま 認定NPO法人 CAPNA 認定NPO法人 いわて子育てネット 特定非営利活動法人山口女性サポートネットワーク NPO法人アントワープカウンセリングオフィス 公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を NPO法人チェンジングライフ 認定NPO法人 インクルいわて 認定NPO法人 エンパワメントかながわ 一般社団法人 京都わかくさねっと 特定非営利活動法人サンカクシャ 特定非営利活動法人陽だまりの家 NPO法人 Learning for All 特定非営利活動法人 箱崎自由学舎ESPERANZA 特定非営利活動法人グッド・エイジング・エールズ 特定非営利活動法人 エンカレッジ 特定非営利活動法人 フードバンクにいがた 特定非営利活動法人 心音 特定非営利活動法人 心魂プロジェクト NPO法人 3.11こども文庫 認定特定非営利活動法人 みやぎ発達障害サポートネット 特定非営利活動法人フリースクールみなも
助成期間	助成決定時から 2021 年 3 月末

<子ども支援団体等緊急支援基金>

当基金は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策や経済活動の停滞に伴う影響が、子

どもや生活困窮者など弱い立場の人々を支援している団体にも及んでいることを受け、子ども支援団体等の経営危機に対して、次の 2 つの側面から緊急的な資金支援を行うことを目的に、大和証券グループをはじめとする多数の寄付者からの寄付をもとに創設された。

- ①子ども支援団体が、新型コロナウイルス感染症流行への対応として、新たな子どもケアなど事業拡充をする際に必要な資金の支援。
- ②子ども支援団体が、ファンドレイジングの機会減少等による資金不足によって、今後のサービス提供の継続が困難になっている場合の緊急支援。

2020 年度は 14,075,205 円の寄附を受け入れ、審査会にて 15 団体を選定し、1 団体あたり上限 100 万円、総額 11,294,400 円の資金助成を実施した。

受入寄附金額	14,075,205 円
助成額	11,294,400 円
公募	2020 年 5 月 12 日 ～ 2020 年 5 月 18 日
応募	202 件
審査会	2020 年 6 月 2 日
審査委員	山岡 義典（法政大学名誉教授、助成財団センター 理事長） 小河 光治（公益財団法人あすのぼ 代表理事） 岸本 幸子（公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事）
審査結果	以下の15団体を決定。 NPO法人 キッズドア NPO法人 NPO亀岡人権交流センター 認定NPO法人 フリースペースたまりば NPO法人 おてらおやつクラブ 認定NPO法人 アトピッ子地球の子ネットワーク 認定NPO法人 とりで NPO法人 リトルワNZ NPO法人 こどもプロジェクト わたぼうし教室 公益財団法人 住吉隣保事業推進協会 NPO法人 U. grandma Japan 一般社団法人 フードバンクいしのまき NPO法人 DV対策センター NPO法人 希望の光 NPO法人 アフリカヘリテージコミティー
助成期間	2020 年 6 月 3 日 ～ 2020 年 12 月 31 日

<アート・ユナイテッド・ファンド（芸術文化の今を守り未来へつなぐ基金）>

当基金は、クラウドファンディングサイト Good Morning で集められた募金をもとに創設された基金である。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて活動が制限されているアーティスト、制作者、技術スタッフといった芸術文化活動の個人の担い手で、営利・非営利や分野に関係なく、公演自粛等に伴う収入の減少に直面し、活動継続が困難になっている人々に対して、各自のこれからの活動を応援するための助成金を出した。さらに賛同企業による無償の非金銭的支援として、ヤフー株式会社による動画配信支援等を予定している（ケイスリー株式会社が主導）。

2020 年度は 17,641,280 円の寄附を受け入れ、審査会にて 76 名を選定し、1 名あたり上限 20 万円、総額 15,200,000 円の資金助成を実施した。

受入寄附金額	17,641,280 円
助成額	15,200,000 円
公募	2020 年 6 月 1 日 ～ 2020 年 6 月 9 日
応募	1,715 件
審査会	2020 年 6 月 21 日
審査委員	滝口 健（世田谷パブリックシアター/東京藝術大学非常勤講師） 久野 敦子（公益財団法人セゾン文化財団 常務理事） 由良 聡（公益財団法人パブリックリソース財団 理事）
審査結果	76名を決定

<舞台芸術を未来に繋ぐ基金＝Mirai Performing Arts Fund>

当基金は、クラウドファンディングサイト Motion Gallery で集められた募金をもとに創設された基金である。新型コロナウイルス感染症の拡大防止によって活動停止を余儀なくされた舞台芸術に携わる出演者・クリエイター・スタッフ（個人、団体問わず）に対して今後の活動に必要な資金を助成した。

2020 年度は 54,155,728 円の寄附を受け入れ、2 回に分けて公募・審査を行い、総額 48,445,373 円の助成を行った。

【第 1 回目の公募結果】

受入寄附金額	37,152,964 円
助成額	個人：22,143,280円、団体：8,654,216 円
公募	2020年6月1日～6月9日
応募	個人：1,177件 団体：193件

審査会	2020 年 6 月 21 日
審査委員	滝口 健（世田谷パブリックシアター/東京藝術大学非常勤講師） 久野 敦子（公益財団法人セゾン文化財団 常務理事） 由良 聡（公益財団法人パブリックリソース財団 理事）
審査結果	<個人> 75名を決定 <団体> 以下の9団体を決定 特定非営利活動法人 劇団道化 一般社団法人 Buoy 一般社団法人 フリンジシアター アソシエーション 公益財団法人 日本オペラ振興会 公益財団法人 筑後市文化振興公社 株式会社 わらび座 有限会社 オペラシアターこんにゃく座 有限会社 劇団ブーク 有限会社 人形劇団クラルテ

【第2回目の公募結果】

受入寄附金額	17,002,764 円
助成額	個人：17,647,877円
公募	2020年8月24日～8月28日
応募	個人：105件
審査会	2020年9月26日
審査委員	滝口 健（世田谷パブリックシアター/東京藝術大学非常勤講師） 久野 敦子（公益財団法人セゾン文化財団 常務理事） 由良 聡（公益財団法人パブリックリソース財団 理事）
審査結果	<個人> 25件を決定

<Dress farm 2020 基金>

当基金は、4人組バンド sumika が発起人となり創設された。sumika が用意した Dress farm 2020 専用サイトにおける新作の楽曲のダウンロードに、個人個人が付けた価値分を寄附し

でもらう仕組みで、2020年5月28日～2020年12月31日までの期間、Give Oneを受け皿として2,223件、11,006,993円の寄附を受け付けた。ミュージシャンが寄附を呼びかけ、そのファンを中心とした大勢の若い層が自分の思いを伝えるメッセージと共に寄附をするという、寄付層の拡大の手法として新たな試みとなった。

集まった寄附金を原資に、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で奮闘している医療機関・関係者、および瀕死の状況に追い込まれつつあるエンタテインメント業界で働く方々に対して、医療分野で6団体、音楽ライブ分野で22名の個人に対し、総額9,555,944円の資金助成を実施した。

【第1回目の公募結果】

受入寄附金額	9,761,966円
助成額	医療分野 3,200,000円、音楽ライブ分野 1,580,960 円
公募	2020 年 8 月 6 日 ～ 2020 年 8 月 19 日
応募	医療分野 8 件、音楽ライブ分野 10 件
審査会	2020 年 9 月 7 日
審査委員	<医療分野> 江口八千代（特定非営利活動法人ファミリーハウス 理事長） 岡部 信彦（川崎市健康安全研究所 所長） <音楽ライブ分野> 伊藤 美歩（アーツブリッジ 代表） 金井 文幸（（一社）日本音楽制作者連盟 常務理事）
審査結果	<医療分野> 以下の4団体を決定 公益財団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院 認定特定非営利活動法人 ハートフル福祉募金 医療法人 社団 愛信会 小倉到津病院 特定非営利活動法人 日本消防ピアカウンセラー協会 <音楽ライブ分野> 8名を決定

【第2回目の公募結果】

受入寄附金額	4,574,984 円（第1回目からの繰越分を含む）
助成額	医療分野 1,980,000円、音楽ライブ分野 2,794,984 円
公募	2021 年 1 月 12 日 ～ 2021 年 1 月 26 日
応募	医療分野 12 件、音楽ライブ分野 59 件

審査会	2021 年 2 月 22 日
審査委員	<医療分野> 江口八千代（特定非営利活動法人ファミリーハウス 理事長） 岡部 信彦（川崎市健康安全研究所 所長） <音楽ライブ分野> 伊藤 美歩（アーツブリッジ 代表） 金井 文幸（（一社）日本音楽制作者連盟 常務理事）
審査結果	<医療分野> 以下の2団体を決定 一般社団法人衛生文化協会 城西病院 横須賀市立市民病院 <音楽ライブ分野> 14名を決定

<Music Cross Aid 基金>

当基金は、一般社団法人 日本音楽事業者協会、一般社団法人 日本音楽制作者連盟、一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会の音楽業界 3 団体が発起人となり「Music Cross Aid 基金」として創設された。同基金は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の継続が困難を極めている日本の音楽ライブエンタテインメント産業を担う事業者や専門スタッフ（フリーランスの個人）を支援し、音楽ライブエンタテインメント産業の現在とその未来を守る一助となることを目的としている。

2020 年度は 225,677,145 円の寄附を受け入れた。第 1 回目の公募では、個人 37 件、法人 11 件を採択し、個人は 1 人あたり上限 20 万円、法人は 1 団体あたり上限 100 万、総額 18,170,000 円の資金助成を実施した。

第 2 回目の公募では、個人 93 件、法人 25 件を採択し、個人は 1 人あたり上限 20 万円、法人は 1 団体あたり上限 100 万、総額 42,225,656 円の資金助成を実施した。

第 3 回目の公募では、個人 115 件、法人 31 件を採択し、個人は 1 人あたり上限 20 万円、法人は 1 団体あたり上限 100 万、総額 53,760,816 円の資金助成を実施した。

【第 1 回目の公募結果】

助成額	18,170,000円
公募	2020年7月14日～7月21日
応募	個人53 件、法人25件
審査会	2020年 8月14 日
審査結果	以下、個人37件を採択。

	北川恭
	大津仁
	澤井悠亮
	佐藤雅光
	関賢太郎
	藤丸昌也
	坂井利徳
	植田博之
	森由起子
	内川悟一
	大塚信介
	工藤春美
	真藤真紀
	山本正浩
	大高隆則
	山口剛弥
	江森孝之
	有松桂一
	吉田正邦
	佐竹千絵
	齋藤真知子
	村上太郎
	松永渉
	野口浩史
	橋川禎
	小山和久
	會田瑞樹
	島本道太郎
	重田雄二
	平賀康子
	香西進也
	松野克則
	矢野裕士
	石坂慶彦
	押野秀美
	林勇治

	国場幸孝 以下、法人11件を採択。 株式会社 アーチドゥーク・オーディオ 有限会社 アスク・ミュージック 株式会社 197 株式会社 サイクルヒット 株式会社 キョードー東海 有限会社 ジャムライス 株式会社 モビーディック 有限会社 おふいすべガ 有限会社 ハルソニック 株式会社 ノースロード・ミュージック 株式会社 アイエス
助成期間	助成決定時 ～ 2021 年 3 月 31 日

【第2回目の公募結果】

助成額	42,225,656円
公募	2020年10月8日～10月20日
応募	個人125 件、法人38件
審査会	2020年 11 月18 日
審査結果	以下、個人93件を採択。 足立隼人 山口 貴 池川恭世 浅野真功 石井幸恵 山崎幸太 小山 哲 奈須 洋文 杉浦健 森 多聞 石原雄介 ”武田和大

	(武田 努) ”
	神成 敏之
	神崎 斐世
	鈴木雄大
	山口麻里絵
	大和正尚
	杉山正吾
	池崎 善行
	西木章智
	辻本 哲
	森左近
	卷上公一
	多田葉子
	渡邊浩志
	鈴木信悟
	藤澤奈央子
	刀称暢朗
	足立 浩
	村上章久
	川井 義之
	渡辺広志
	日比さや香
	桃井裕範
	加登 匡敏
	塚越慎子
	山内和義
	川井仁
	谷澤 一輝
	福田明子
	近藤祥昭
	奥成一志
	平澤成基
	田中 智子
	柳原和也
	大坪健太郎
	鵜木 孝之

	太田 美香 平野晋介 ”渡辺陽子 （旧姓 山口）” 生田目勇司 小川敬一 木村佳代子 金井治樹 押尾満 朝里勝久 重光 稜 畠山裕子 小林清明 本田理恵 野口亮 飯島 正剛 安達 玄 宮崎 泉 柳谷英勝 古谷圭介 伊藤宏樹 佐藤 恭子 岡本健太 齋藤亮太 吉浦健治 名越 由貴夫 鈴木 賢 横野 哲郎 秋山健介 河原塚裕司 竹中 俊二 吉岡大輔 日野林 晋 村山竜二 真砂陽地 真船駿
--	--

	渡邊 尚仁 高桑佳実 秋吉雅史 大脇淳 大堰 邦郎 石塚真斗 南條嘉人 田中 基博 横田誓哉 出合幸裕 矢崎良子 以下、法人25件を採択。 有限会社 ワイドオープン 株式会社 T-SOUND-PRO 株式会社エアーフラッグ 株式会社 プラントン 有限会社 フィールド・ギア mplusplus 株式会社 株式会社 若尾綜合舞台 有限会社ボーゲン 株式会社アズプロデュース 有限会社 恒和 戸田音響サービス 有限会社エレクトリックレディランド 株式会社 トライシス 株式会社 イーストワン 株式会社音響スタッフ 有限会社 アームテックパブリシャーズ 株式会社 UNISON COMPANY 株式会社ジーアンドイー 株式会社オフィスリベロ 有限会社 エムエイエム ザックアップ株式会社 有限会社waver 株式会社 シブヤテレビジョン アシスト・ジャパン株式会社
--	--

	株式会社 artical ENTERGEAR株式会社
助成期間	助成決定時から 2021 年 5月 31 日まで

【第3回目の公募結果】

助成額	53,760,816円
公募	2021年1月26日～2月9日
応募	個人359 件、法人108件
審査会	2021年 3 月12 日
審査結果	以下、個人115件を採択。 幡谷哲也 apollo 関根豊 中村 哲 岩村聡弘 関 賢太郎 佐々木誠 小笠原 学 ヒロ・ノグチ 小池修 岩元真樹 石田慎 竹田 元 日俣綾子 原口 誠 木内眞実 山下 廣延 小島 良喜 長谷川浩司 藤井晴稔 大石龍介 服部 裕子 佐藤大剛 辻忠行 黒澤力也

	岩井祐輔
	岩瀬聡志
	渡辺瑞恵
	小泉信彦
	南方美智子
	植田博之
	川崎哲平
	綱島朋也
	原田渉
	田村陽介
	真藤 真紀
	加藤 央
	工藤ハル
	阿部聡視
	岡 直人
	濱本尚吾
	櫛田 博
	青山貴
	佐々木史郎
	池田 聡
	煤木 康友
	鈴木泰充
	白石経
	坂本雅幸
	織畠英司
	米倉京佑
	中尾紗知
	鎌田祥子
	峰守 一隆
	熊谷泰昌
	大江昌未
	桐山なぎさ
	夏秋文尚
	久保田武
	山本 正浩
	片山 順二

佐竹泰明
稲田誠
野崎洋子
原田謙司
鈴木賢一郎
佐々木聖也
堀内 求
木村大樹
松井 泉
MICHAEL GUIRU
安達貴史
岡島英臣
徳武あいさ
金子直樹
福田裕彦
大森勇治
仁藤 雄貴
石川徹也
Midori Aoyama
砂川真緒
海老原諒
小田島亨
服部 陽介
田中匠郎
大久保 喬史
平井(ヒライ)
小林祐介
増 圭介
戸邊叶恵
鈴木邦典
Kao
佐藤直子
池畑潤二
MIYA
前田郁子
井潤昌樹

	鍛田修一 寺谷光 佐野真弓 清水俊也 Ray 中北裕子 すぎたじゅんじ ケンゴマツモト 坂上領 吉木諒祐 荒木 啓介 中山博之 多田淳一 SAYAKA 高松浩史 早川 雅博 坂出雅海 小島功一朗 以下、法人31件を採択。 株式会社 アビリティーミューズ 株式会社 インターブレンド 有限会社 ヘッドライン 有限会社サカモト WaikikiRecord ナックルポート 株式会社 株式会社ロッカホリック 株式会社 アーチドゥーク・オーディオ 株式会社Marvel ENTERTAINMENT 株式会社 サウンドプロジェクトムジカ 有限会社スラッシュ 有限会社 パライット 有限会社 ジャムライス 株式会社 キョードー東海 有限会社 クロックワイズ 株式会社 DreamQuest Sound 株式会社 エムアンドアイカンパニー
--	---

	株式会社ALIVE 株式会社 東京音協 株式会社サンフォニックス大阪 株式会社ディーエムジェイ 有限会社 シグナス 株式会社 MRD 株式会社 フラッグシップ・アーティスツ nuclearness合同会社 株式会社ピーエムエージェンシー 有限会社MINFAPLAN 株式会社LilFarm 株式会社 ワイズ音楽出版 デライト 株式会社 株式会社 PRIMITIVE (DMC JAPAN 事務局) 株式会社 ヒューマンデザイン
助成期間	助成決定時から 2021 年 7 月 31 日

<J-Coin 基金>

みずほフィナンシャルグループ、J-Coin 加盟行、賛同企業・団体、そして J-Coin Pay のユーザーからの支援により、創設された基金である。集まった寄付金を原資として、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっている医療機関・医療関係者、新型コロナウイルス感染症及び感染拡大防止の影響を受けている子どもたち、生活困窮家庭、学生、さらには、アフターコロナに向けての地域活性化への取組みなど、幅広い分野の非営利団体を対象とした助成を行った。

2020 年度は 507,652,109 円の寄附を受け入れ、第 1 回目の公募では、82 団体を選定し、1 団体あたり上限 200 万円、総額 146,727,966 円の資金助成を実施した。

第 2 回目の公募では、52 団体を選定し、1 団体あたり上限 200 万円、総額 96,656,361 円の資金助成を実施した。

第 3 回目の公募では、79 団体を選定し、1 団体あたり上限 200～500 万円、総額 206,097,442 円の資金助成を実施した。

全 3 回の合計としては、205 団体の 213 事業に対して、総額 449,481,769 円の資金助成を実施し、全国の幅広い分野の新型コロナ対応事業に対して資金的支援を行った。

【第 1 回目の公募結果】

助成額	146,727,966 円
-----	---------------

公募	2020 年 6 月 18 日 ～ 2020 年 6 月 25 日
応募	229 件
審査会	2020 年 7 月17 日
審査委員	明石 勝也（聖マリアンナ医科大学 理事長） 白井 智子（特定非営利活動法人新公益連盟 代表理事） 小河 光治（公益財団法人あすのぼ 代表理事） 藻谷 浩介（株式会社日本総合研究所 主席研究員）
審査結果	以下の82団体を決定。 <①医療分野> 公益社団法人 奈良県柔道整復師会 医療法人社団 まごのクリニック 郡山医療生活協同組合 医療法人社団愛信会 小倉到津病院 国立大学法人 香川大学医学部附属病院 血液内科 公立大学法人 福島県立医科大学 感染制御学講座 公益社団法人 地域医療振興協会 福島医療生活協同組合 医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院 医療法人 秀峰会 川村病院 医療法人慈公会 公平病院 <②社会的弱者支援分野> 一般社団法人 ちろる 特定非営利活動法人 フードバンク TAMA 社会福祉法人 高取町社会福祉協議会 特定非営利活動法人 Lotus NPO法人 コミュニティワーク研究実践センター 特定非営利活動法人 WEL'S 特定非営利活動法人 どんぐりパン NPO法人 ケアット 特定非営利活動法人 楽笑 NPO法人 DV対策センター 特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所 一般社団法人 コミュニティシンクタンク北九州 特定非営利活動法人 フードバンク うつのみや 社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

	特定非営利活動法人 まいど家 一般社団法人 シンママ大阪応援団 NPO法人 奏海の杜 NPO法人 子どもNPOセンター福岡 特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan) 社会福祉法人 滋賀県母子福祉のぞみ会 特定非営利活動法人 Switch 特定非営利活動法人 チュラキューブ 特定非営利活動法人 抱樸 一般社団法人 にぎわい夢創りプロジェクト NPO法人 み・らいず2 NPO法人 レインボーリボン NPO法人 寺子屋方丈舎 一般社団法人 インクルージョンネットかながわ NPO法人 日向ぼっこ NPO法人 がんばろう福島、農業者等の会 特定非営利活動法人 eワーク愛媛 特定非営利活動法人 ゆずりは学園 NPO法人 キッズドア NPO法人 たんたん 特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク 認定NPO法人 フローレンス 一般社団法人 青少年自助自立支援機構 NPO法人 サステナブルネット 社会福祉法人 ぶるーむ NPO法人 NPO亀岡人権交流センター 特定非営利活動法人 なまむぎこども食堂 NPO法人 維新隊ユネスコクラブ 特定非営利活動法人 S T O R I A 特定非営利活動法人 ワーカーズコレクティブてとて 特定非営利活動法人 つなぐ舎 一般社団法人 コ・エル NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 特定非営利活動法人 サンカクシャ 特定非営利活動法人 トイボックス NPO法人 回復はどこにでもある
--	---

	特定非営利活動法人 山王学舎 NPO法人 フリースクール クレイン・ハーバー 認定NPO法人 シャイン・オン・キッズ 認定NPO法人 ふーどばんく OSAKA NPO法人 あなたの街の三河やさん 認定NPO法人 アトピっ子地球の子ネットワーク NPO法人 応援のしっぽ 特定非営利活動法人 チャイルドラインみやぎ <③困窮学生支援分野> 一般財団法人 鎌倉フェロシップ 特定非営利活動法人 さいたまユースサポートネット 特定非営利活動法人 学生人材バンク 認定非営利活動法人 山口せわやきネットワーク <④地域活性化支援分野> 一般社団法人 SAVE IWATE 認定NPO法人 あっちこっち 一般社団法人 清水沢プロジェクト 特定非営利活動法人 ボランティアインフォ 特定非営利活動法人 UNE NPO法人 黒島観光協会 一般社団法人 SGSG 特定非営利活動法人 BaRaKa 特例認定NPO法人 三段峡一太田川流域研究会
助成期間	2020 年 7 月 22 日 ～ 2021 年 3 月 31 日

【第2回目の公募結果】

助成額	96,656,361 円
公募	2020 年 7 月 30 日 ～ 2020 年 8 月 6 日
応募	151 件
審査会	2020 年 8 月 31 日
審査委員	明石 勝也（聖マリアンナ医科大学 理事長） 白井 智子（特定非営利活動法人新公益連盟 代表理事） 小河 光治（公益財団法人あすのば 代表理事） 藻谷 浩介（株式会社日本総合研究所 主席研究員）
審査結果	以下の52団体を決定。

	<①医療分野> 医療法人 心泉会 上條記念病院 医療法人 尚和会 学校法人 聖路加国際大学 公益財団法人 河野臨牀医学研究所 国立大学法人 香川大学医学部附属病院輸血部／看護部 医療法人社団 聖カタリナ病院 社会福祉法人 浴風会浴風会病院 <②社会的弱者支援分野> 特定非営利活動法人 おりざの家 特定非営利活動法人 アスイク NPO法人 リトルワンズ 特定非営利活動法人 なかのドリーム 特定非営利活動法人 キッズ未来プロジェクト 特定非営利活動法人 アフタースクール 一般社団法人 北長瀬エリアマネジメント 特定非営利活動法人 ウィメンズネット・マサカーネ 公益財団法人 京都YWCA 一般社団法人 イシノマキ・ファーム NPO法人 K o d o m o S a i j o 公益社団法人 MORIUMIUS 特定非営利活動法人 子どもパートナーズHUGっこ NPO法人 えんばわめんと堺／ES 特定非営利活動法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ NPO法人 京都難病支援パッション 特定非営利活動法人 こどもプロジェクト 特定非営利活動法人 西臼杵教育振興連合会 認定特定非営利活動法人 ポケットサポート NPO法人 エデュケーションエキューブ 認定特定非営利活動法人 マギーズ東京 NPO法人 マドレボニータ NPO法人 アスクネット 公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会 特定非営利活動法人 いるか NPO法人 北関東医療相談 特定非営利活動法人 TEDIC
--	---

	特定非営利活動法人 クラブハウスこころのリカバリー 特定非営利活動法人 S y n a p s e 4 0 N P O 法人 プラスエデュケート 特定非営利活動法人 C A N 一般社団法人 ワタママスマイル N P O 法人 ミーネット <③困窮学生支援分野> 国立大学法人 富山大学 特定非営利活動法人 日本教育再興連盟 <④地域活性化支援分野> 特定非営利活動法人 きっかけ食堂 N P O 法人 MIYAZAKI C-DANCE CENTER 特定非営利活動法人 益田市・町おこしの会 N P O 法人 さとうみファーム N P O 法人 ロクマル 特定非営利活動法人 N I C E （日本国際ワークキャンプセンター） 一般社団法人 ふらっとーほく 一般社団法人 紀の川フルーツ・ツーリズム N P O 法人 S E T 特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン
助成期間	2020 年 9 月 7 日 ～ 2021 年 3 月 31 日

【第3回目の公募結果】

助成額	206,097,442 円
公募	2020 年 9 月 15 日 ～ 2020 年 9 月 29 日
応募	372 件
審査会	2020 年 10 月 23 日
審査委員	明石 勝也（聖マリアンナ医科大学 理事長） 白井 智子（特定非営利活動法人新公益連盟 代表理事） 小河 光治（公益財団法人あすのば 代表理事） 藻谷 浩介（株式会社日本総合研究所 主席研究員）
審査結果	以下の79団体を決定。 <①医療分野> 国立大学法人 京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学 一般社団法人 衛生文化協会

	独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター 社会医療法人 岡村一心堂 岡村一心堂病院 学校法人 久留米大学 久留米大学病院 公益社団法人 地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院 国立大学法人 富山大学 富山大学附属病院 北海道公立大学法人 札幌医科大学 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 香川県済生会病院 学校法人昭和大学 昭和大学横浜市北部病院 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 学校法人昭和大学 昭和大学江東豊洲病院 公立大学法人福島県立医科大学 感染制御学講座 医療法人 尚和会 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター <②社会的弱者支援分野> 特定非営利活動法人 あきた結いネット 特定非営利活動法人 リベラヒューマンサポート NPO法人 女性と子ども支援センター・ウィメンズネットこうべ 社会福祉法人 恩賜財団済生会 済生会熊本福祉センター 特定非営利活動法人 四ツ葉の会 特定非営利活動法人 どんぐりの家 特定非営利活動法人 Mama's cafe 特定非営利活動法人 みんなで子育てドロップス 特定非営利活動法人 エス・アイ・エヌ 集いの場あゆみ 国立大学法人 熊本大学こばと保育園 NPO法人 アントワープカウンセリングオフィス 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を 社会福祉法人 松山市社会福祉協議会 社会福祉法人 猪位金福社会 暖家の丘おひさま保育園 特定非営利活動法人 ここ 特定非営利活動法人 くまもとスローワーク・スクール こども食堂わかやま 医療法人 野尻医院 NPO法人ソレゾレ 特定非営利活動法人 U. grandma Japan 特定非営利活動法人 ASOVIVA NPO法人 熊本どんぐり
--	--

	特定非営利活動法人 ビーのびーの 認定NPO法人 N E X T E P 非営利型一般社団法人 かたつむり NPO法人 オリーブの家 アフターケア相談所ゆずりは 認定特定非営利活動法人 女性のスペース結 特定非営利活動法人 えがおのたね 特定非営利活動法人 報徳食品支援センター 一般社団法人 らしくサポート 特定非営利活動法人 西成チャイルド・ケア・センター 特定非営利活動法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ シンママ熊本応援団 NPO法人 子どもセンター 特定非営利活動法人 バリアフリー総合研究所 特定非営利活動法人 あつとすくーる 認定特定非営利活動法人 ハートフル福祉募金 特定非営利活動法人 グッド・エイジング・エールズ 特定非営利活動法人 フードバンクかごしま NPO法人 ちぼりーの NPO法人 熊本若葉会 認定NPO法人 3keys 特定非営利活動法人 エンカレッジ 認定NPO法人 D×P 特定非営利活動法人 Chance For All 特定非営利活動法人 WELgee 特定非営利活動法人 西臼杵教育振興連合会 社会福祉法人 滋賀県母子福祉のぞみ会 特定非営利活動法人 フードバンクTAMA 認定特定非営利活動法人 マギーズ東京 ＜③困窮学生支援分野＞ 公益財団法人 クロサワ育成財団 学校法人 龍谷大学 特定非営利活動法人 G-net 茨城県生活協同組合連合会 ＜④地域活性化支援分野＞ 特定非営利活動法人 湯来観光地域づくり公社
--	--

	NPO法人 みさと 伊自良の里・食と農推進協議会 いちのせきニューツーリズム協議会 NPO法人 熊本まちなみトラスト 社会福祉法人 小菅村社会福祉協議会 特定非営利活動法人 土佐山アカデミー 一般社団法人ちろる 特定非営利活動法人 北関東医療相談会
助成期間	2020 年 10 月 26 日 ～ 2021 年 3 月 31 日

<コロナ給付金寄付プロジェクト>

当財団とヤフー株式会社、株式会社トラストバンクは、政府が「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」として、全国すべての国民を対象に一律で給付した 10 万円を、新型コロナウイルス拡大に伴い影響を受けた個人や企業を支援するために寄付ができる新たな寄付プラットフォームを 2020 年 5 月に立ち上げた。ヤフーとトラストバンクの運営するインターネット上の寄付サイトを中心に幅広い層から寄付を集め、「医療分野」「福祉・教育・子ども分野」「文化・芸術・スポーツ分野」「経営困難に追い込まれた中小企業分野」の四分野に助成する仕組みである。下記の委員からなる審査委員会を立ち上げ、2020 年度は、総額 354,231,280 円の寄附を受け入れ、公募による助成を 3 回実施した。

◆審査委員名（五十音順）：

今村久美 認定特定非営利活動法人カタリバ代表理事／中央教育審議会委員
 鵜尾雅隆 特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会代表理事
 片山正夫 公益財団法人セゾン文化財団理事長
 工藤啓 認定特定非営利活動法人育て上げネット理事長／金沢工業大学客員教授
 國井修 医師 グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）戦略・投資・効果局長
 渋谷健司 医師 WHO 事務局長上級顧問、英国キングス・カレッジ・ロンドン教授
 南壮一郎 ビジョナル株式会社代表取締役社長
 藤沢烈 一般社団法人 RCF 代表理事／特定非営利活動法人新公益連盟理事・事務局長
 藻谷浩介 株式会社日本総合研究所調査部主席研究員／株式会社日本政策投資銀行地域企画部特別顧問

コロナ給付金寄付プロジェクト 第3回までの寄付金額、応募件数、採択件数										
<寄付額>										
	医療分野	ぎふ清流	福祉・教育・子ども分野	文化・芸術・スポーツ分野		中小企業		手間いらず		合計
第1回公募 5/7～5/31	39,629,930	-	20,342,214	11,855,558		18,129,803		-		89,957,505
第2回公募 6/1～7/31	62,694,003	1,004,744	34,460,762	16,552,482		27,665,399		10,000,000		152,377,390
第3回公募 8/1～9/30	14,171,303	726,064	6,575,991	5,793,795		7,642,633		-		34,909,786
合計	116,495,236	1,730,808	61,378,967	34,201,835		53,437,835		10,000,000		277,244,681
<応募件数>										
	医療分野 ※ぎふ清流含む	福祉・教育・子ども分野	文化・芸術・スポーツ分野		中小企業			手間いらず		合計
			団体	個人	法人	個人	その他	法人	個人	
第1回公募	16	80	36	71	13	17	5	-	-	238
第2回公募	24	111	54	126	41	35	-	6	3	400
第3回公募	11	53	9	34	5	2	-	1	1	116
合計	51	244	99	231	59	54	5	7	4	754
<採択数>										
	医療分野 ※ぎふ清流含む	福祉・教育・子ども分野	文化・芸術・スポーツ分野		中小企業			手間いらず		合計
			団体	個人	法人	個人	その他	法人	個人	
第1回公募	8	10	4	10	9	10	-	-	-	51
第2回公募	10	18	4	23	17	7	-	5	0	84
第3回公募	4	4	0	12	5	0	-	1	1	27
合計	22	32	8	45	31	17	0	6	1	162

◆第一回助成の概要

公募期間：5月7日（月）～5月25日（月）

書類審査：5月26日（月）～6月7日（日）

審査委員会開催日：6月8日（月）

① 医療分野：採択件数8件、助成総額34,069,667円

全国各地の医療機関や医療機関を支援する団体から、全16件の応募があった。医療機関においては、今後さらに重要となるPCR検査体制の充実を中心に、すでに感染患者の受け入れを行い集中治療において大きな貢献をした病院、感染症対策と通常医療との両立、手術中止や健診中断などにより悪化した経営の立て直しを図るものなど多様な応募が見られた。医療機関を支援する団体からは、通常ではなかなか支援の手が及ばない難病患者や障害者の感染防止策の提案や、仮設のPCR検査場の設置を推進するものなどがあった。

組織の信頼性、これまでの実績や申請事業の明確さ、緊急性などに鑑み、以下の8件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業名
東京都 北区	東京はくと医療生活協同組合 王子生協病院	¥4,996,590	新型コロナウイルス感染対策
千葉県 浦安市	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター	¥5,000,000	新型コロナウイルス感染症患者診療事業
北海道 苫小牧	一般社団法人苫小牧市医師会	¥1,910,547	マスク・ガウンなどを購入し医療機関へ配布など

市			
岡 山 県 岡山市	公益財団法人操風会 岡山旭東病院	¥4,984,000	新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者外来事業
大 阪 府 八尾市	八尾市立病院	¥5,000,000	新型コロナウイルス感染症時勢下における発熱患者受診拒否防止事業
宮 城 県 仙台市	認定特定非営利活動法人ハートフル福祉募金	¥4,400,000	支援が届きにくい、在宅難病児者と在宅肢体不自由児者へ、安全な国産マスクと国産フェイスシールドを配布し安心を届ける
東 京 都 文京区	国立大学法人 東京医科歯科大学医学部附属病院	¥5,000,000	医師による COVID-19 の診療外支援業務
沖 縄 県 石垣市	沖縄県立八重山病院	¥2,778,530	感染症病床整備事業

② 福祉・教育・子ども分野：採択件数 10 件、助成総額 16,051,200 円

全国の福祉施設や NPO 等から、全 80 件の応募があった。休校措置や外出自粛などの感染症予防対策の影響を受けて、しわ寄せがきている社会的弱者を支援する多様な団体からの応募があった。経済的に困難な世帯に対する食料支援を行うフードバンク事業、オンラインでの学習支援や子育て支援・若者の悩み相談、生活困窮者支援、DV 被害防止など多彩な事業があった。

組織の信頼性、これまでの実績に加え、受益者のニーズを確実に捉えているか、実現可能な計画になっているか、などの視点から審査を行い、以下の 10 件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業名
宮城県 仙台市	特定非営利活動法人ワンファミリー仙台	¥1,657,000	DV 被害者等の住宅確保要配慮者に特別定額給付金を受給可能にするための居所支援事業
埼玉県 さいたま市	認定特定非営利活動法人女性のスペース結	¥1,443,500	DV・虐待ストップ事業（こんなときだからこそ居場所が必要）

千葉県 船橋市	特定非営利活動法人 ウィーズ	¥1,800,000	家庭にとどまる子どもへのアウトリーチ事業
大阪府 堺市	認定特定非営利活動法人 ふーどばんく OSAKA	¥2,000,000	おすそわけ食でみんなをサポート！ 緊急食デリバリー支援と食マーケット個別相談支援で地域の情報弱者をサポートする事業
宮城県 仙台市	宮城学院女子大学リエゾン・アクション・センター	¥330,000	フードバンクプロジェクト
東京都 新宿区	認定特定非営利活動法人 3keys	¥1,964,000	オンラインと SNS を活用した啓発動画・記事の配信と支援機関への接続
東京都 台東区	特定非営利活動法人 国際子ども権利センター（通称：シーライツ）	¥1,000,000	子育てが苦しいと感じている養育者支援事業
東京都 江東区	公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン	¥2,000,000	新型コロナ影響下における生活困窮世帯の子ども教育格差解消事業
大阪府 大阪市	認定特定非営利活動法人 D×P	¥2,000,000	孤立した 10 代に、LINE で食べる住む働く をサポートする
愛知県 名古屋市	一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト	¥1,856,700	コロナ後の社会変化において新たに生まれる困窮孤立の問題を地域連携でサポートする相談事業

③ 文化・芸術・スポーツ分野：採択件数団体 4 件、個人 10 件、助成総額 10,162,000 円
劇団等の芸術団体、企業、NPO など 36 団体とアーティスト、パフォーマーなど個人 71 人から応募があった。イベントや集会の自粛、客席数の削減などの逆風のなかで、オンラインを活用したパフォーマンスや動画配信などを中心に、新たな芸術やスポーツの可能性を模索するものが寄せられた。

これまでの実績や、文化・芸術・スポーツ活動の存続や再開に向けた活動になっているか、今後の社会における心と身体のゆたかさの回復・向上に貢献するか、などの視点から審査を行い、以下の団体 4 件、個人 10 件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業名
-----	-------	------	-------

神奈川県横浜市	合同会社 白 A	¥2,000,000	全日本新体操オンライン演技会 ONE
奈良県高市郡	株式会社魂源堂	¥2,000,000	明日香音魂祭（野外ライブ&和太鼓体験ワークショップ等）及びオンライン配信
東京都中央区	一般社団法人 ダイアログ・ジャパン・ソサエティ	¥2,000,000	ダイアログ・イン・ザ・ダーク（オンライン）
大阪府大阪市	公益財団法人 山本能楽堂	¥1,162,000	【無料で活用公募】オンライン配信環境整備事業

所在地	申請者名	申請金額	職業
東京都板橋区	前川健生	¥300,000	テノール歌手・遊音楽企画代表
東京都豊島区	大石将弘	¥300,000	俳優（演劇）
東京都立川市	舘亜里沙	¥300,000	演出家
東京都練馬区	大池容子	¥300,000	劇作家・演出家
京都府京都市	井潤昌樹	¥300,000	作曲家
東京都三鷹市	神戸光徳	¥300,000	演奏家
京都府京都市	髭だるマン	¥300,000	演劇
東京都練馬区	山本 裕	¥300,000	振付家、ダンサー
東京都世田谷区	yui kochi	¥300,000	作曲家/ピアニスト
東京都国立市	大園康司	¥300,000	振付家・ダンサー・舞台音響家

④ 中小企業分野：採択件数企業 9 社、個人事業主 10 件、助成総額 11,673,800 円

本分野では、障害者、女性、若者の雇用促進や経営参加に取り組んでいる中小企業および個人事業主で、新型コロナウイルスの感染拡大によって経済的影響を受けた中小企業および個人事業主に助成した。障害者、女性、若者の雇用促進や経営参加に取り組んでいる「人にやさしい」企業や個人事業主から合計 35 件の応募があった。新型コロナで被ったダメージ

ジが大きい、経営努力がなされている、事業を通じて社会や地域に貢献しているなどの観点から審査を行い、以下の中小企業9社、個人事業主10人を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額
大阪府大阪市	竹内商事 株式会社	¥1,000,000
宮城県亘理郡	株式会社 WATALIS	¥1,000,000
東京都渋谷区	株式会社ミライ LABO	¥1,000,000
東京都新宿区	株式会社 A Ma-no	¥993,800
千葉県千葉市	株式会社ダイヤサービス	¥1,000,000
埼玉県さいたま市	藍建築工房株式会社	¥1,000,000
東京都台東区	株式会社 グローバル・デイリー	¥1,000,000
大阪府大阪市	有限会社 ウィメンズセンター大阪	¥1,000,000
愛知県名古屋市	田園社会イニシアティブ株式会社	¥680,000

所在地	個人事業主名	申請金額
長野県北佐久郡	お肴ダイニング樹楽	¥300,000
青森県西津軽郡	藤原航太鍼灸院	¥300,000
北海道旭川市	H.m paint	¥300,000
福島県郡山市	久保田彩乃	¥300,000
東京都板橋区	太陽の恵み指圧治療院	¥300,000
愛知県豊田市	エスコーラ ネクター	¥300,000
東京都大田区	スターズ	¥300,000
新潟県妙高市	結びの宿 田端屋	¥300,000
東京都八王子市	Cafe Chocolate (カフェショコラテ)	¥300,000
宮城県柴田郡	ナルミ・キッチン	¥300,000

◆第二回助成の概要

公募期間：7月1日（水）～7月9日（木）

書類審査：7月10日（金）～7月30日（木）

審査委員会開催日：7月31日（金）

① 医療分野：採択件数10件、助成総額47,000,000円

全国各地の医療機関や医療機関を支援する団体から、全 24 件の応募があった。医療機関においては、PCR 検査体制確立のための応募のほか、防護具の調達・設備の充実等による院内感染拡大防止のための措置に対する応募が多くみられた。第一回目の公募に比べ、新型コロナウイルス感染症患者とその治療・検査体制確立を行うというものに留まらず、病院を利用する様々な疾患を持つ患者や、医療従事者自身の感染防止体制を整えるための応募も多くみられた。

組織の信頼性、これまでの実績や申請事業の明確さ、緊急性などに鑑み、以下の 10 件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業の概要
東京都 千代田 区	公益社団法人 地域医療振興 協会	¥5,000,000	N95 マスク、フェイスシールド、防護服などの防護具の調達、確保を協会本部で行ったうえで、病院や老健施設等の各施設への配送を行う。通常の購入ルートである卸が物品の供給、調達を行えないがために、協会本部にて海外のメーカーや提携先、新規のメーカーへの発注を行うことで、物品不足に対応する。感染防止と感染予防を通じて地域住民の健康や命を守る医療活動として、継続した医療体制の維持に貢献する。また、地域医療振興協会の施設は、地方自治体からの指定管理契約で運営する施設も多く、自治体の医療政策に直接貢献するものにもなっている。
京都府 京都市	京都府公立大 学法人京都府 立医科大学附 属病院	¥5,000,000	新型コロナ陽性患者の診療にあたる中で、分娩や帝王切開、あるいは脳外科や耳鼻咽喉科などの上気道手術などの感染性の高い手術や処置に対して、直接従事する医療者を職業感染から守るための装備を購入する。
沖縄県 中頭郡 西原町	国立大学法人 琉球大学琉球 大学病院	¥5,000,000	本事業では、沖縄県内の琉球大学病院を含む 6 つの感染症指定医療機関と 15 の感染症協力医療機関を対象とし、一定の検査基準を満たした医療従事者は無償で呼吸器ウイルス（新型コロナとその他の呼吸器ウイルス）検査を受けることができる体制をつくる。迅速かつ積極的に検査を行うことで医療従事者の新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染拡大防止につとめ沖縄県内の医療機関を医療崩壊から守る手助けをする。
東京都 大田区	学校法人東邦 大学東邦大学 医療センター	¥5,000,000	PCR 検査体制を確立するため以下の物品を購入する。 ・ PCR 検査試薬キット ・ サージカルマスク

	大森病院		・フェイスシールド
京都府 京都市	独立行政法人 国立病院機構 京都医療セン ター	¥5,000,000	本事業により導入するシステムでは、カメラ映像により、ICU、HCU、初療室、救急外来での患者ベッドの周辺の撮影が可能となり、生体情報モニターや人工呼吸器の画面などを見ることができる。これにより、コロナ陽性／疑い患者など隔離が必要な患者に対し、患者に直接接する人数を少なくし、清潔な区域からもモニタリングや患者観察を行なえるようになる。直接接触する人数を減らせることで、感染予防や、在庫数が逼迫している感染に関する防護服関係品の節約にもつながるものである。
大阪府 和泉市	医療法人徳洲 会和泉市立総 合医療センタ ー	¥5,000,000	酸素を必要とする中等症・軽症者患者の受入を行うために立ち向かう。その際中等症から重症化し、人工呼吸器を装着する患者が出た場合には陰圧装置および ICU にて治療が必要であるが、医療用空気清浄器、多機能型簡易陰圧装置が整備されておらず、治療が難しい。今回これを ICU に整備し治療にあたりたい。透析患者・化学療法にて感染した患者部屋にも使用する。
東京都 立川市	独立行政法人 国立病院機構 災害医療セン ター	¥5,000,000	緊急事態制限も一度は解除となったが、今後は「重点医療機関」及び「新型コロナ疑い救急医療機関」（東京ルール）に登録したことで、第 2、第 3 波の影響により患者の増加があった際に、積極的に新型コロナ患者等を受け入れる。このために院内の呼吸器管理関係の医療機器や新型コロナ患者等の受入体制を充実・強化させていく。
埼玉県 川口市	医療法人新青 会川口工業総 合病院	¥5,000,000	4 月以降、現在まで規模を拡大しながら行っているコロナ感染症患者専用病棟の運営体制を強化し、感染患者の継続的受入を行う。運営に当たるチームへの危険手当等を確保し、地域の医療ニーズに応え続ける体制を整えていく。
東京都 練馬区	地域医療振興 協会練馬光が 丘病院	¥5,000,000	新型コロナ患者やその疑い患者さんについては、外来ではコロナ外来や救急外来で対応するため他の患者さんとは別に電子カルテが必要となる。特に簡易診察室（トレーラー診察室）や簡易待合（テント）では医師の診察の他に看護師の問診やトリアージ用にノート型電子カルテの投入がスムーズな医療へ貢献する。また、入院では面会が制限されるため、iPad 等でのモニター面会や、オンライン感染対策会議用の PC 購入で、患者さんご家族のストレ

			ス軽減と職員の在宅勤務化に努める事を目的とする。
東京都 八王子 市	学校法人東京 医科大学八王 子医療センタ ー	¥2,000,000	総合病院である八王子医療センターの「発熱外来」が受け入れられる患者数を増し、安全に運営できるよう下記の通りハード・ソフト両面の整備を行う。 1) 感染症外来診察室の陰圧環境の整備（結核疑い患者が受診したときのために陰圧個室となっているが、老朽化に伴い陰圧環境に不備が生じている） 2) 上記診察室の待合室の整備（現況では1人用の待合室のため、2人以上の患者が受診した場合は、自家用車の中で待っててもらっている） クリーンパーテーションを設置し、2人以上の患者が安全に待合室を利用できるよう整備する。 3) 診察室、待合室にWebカメラ、インターホンを設置（検査の待ち時間に医療スタッフが同室にいらなくてもよいように遠隔で見守れるような装置を設置する）

② 福祉・教育・子ども分野：採択件数 18 件、助成総額 30,994,916 円

全国の福祉施設や NPO 等から、全 111 件の応募があった。コロナ禍で深刻な影響を受けている、子ども、若者、高齢者等、社会的弱者を支援する幅広い分野で活動する団体からの応募が多数あった。前回に引き続き経済的に困難な世帯に対する食料や生活支援の他、乳幼児、アレルギー疾患、重度障がい児、不登校、LGBT 等、複合的に困難を抱える子どもやその家族を支援するといった、幅広い課題に取り組む団体からの応募もあった。また、こうした幅広い層に対する物理的な支援にとどまらず、オンライン化や居場所作り、メンタルケア、心理的サポートを含む支援内容も多くあった。

組織の信頼性、これまでの実績に加え、受益者のニーズを確実に捉えているか、実現可能な計画になっているか、などの視点から審査を行い、以下の 18 件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業概要
滋賀県 大津市	認定特定非営利活動法人 マイママ・セラピー	¥2,000,000	本事業は、コロナ禍で健診がストップし、地域の保健センターや子育て支援センターも閉鎖され、相談先や居場所を失くして不安を抱える母親たち、特に妊産婦を対象に、地域保健を展開したいと願う助産師や保健師の人たちとともに、

			オンラインでの相談・妊産婦教室を行うもの。既に活動は開始しており、5月連休には1日2回、情報提供や居場所をネット上に設定し、活動を行っている。サポートしている助産師や保健師の皆さんは、すべてボランティアで参加しており、今後の活動継続のために本事業を申請した。
沖縄県 那覇市	一般社団法人 Kukurū	¥2,000,000	コロナ禍の影響で、障がい児や学童を遊ばせる場所が相次いで使えなくなっており、障がい児とその家族は、一般の方と接触を避けて遊ばせられる場所を探している。本事業では、当法人が、在宅医療が必要な重い障がいのある子どもとその家族支援の拡充のために、昨年秋に竣工した施設の屋上バルコニーを子どもたちの遊び場として整備する。当法人の利用者や近隣の障がい児支援事業所を利用する子ども達にも開放する。具体的には、安全性を高めるラバーマットの敷設、感染予防等のための水栓と流し台の設置、非接触型体温測定機を購入する。
大阪府 大阪市	社会福祉法人関西いのちの電話	¥100,000	当法人は、東京に続き全国2番目の“いのちの電話”として1974年より活動している。コロナ感染が拡大するに伴い、コロナ禍に関連する電話相談が増加している。365日24時間体制を維持している相談窓口となっているが、活動を継続するためにも、相談員自らが感染を予防する必要がある。本事業では、相談員の感染予防対策として、検温器、パーティションの設置、顔面シールド等を購入する予定。
東京都 渋谷区	認定特定非営利活動法人 マドレボニータ	¥1,810,200	当法人は、産後が起点となる社会問題（産後うつ、乳児虐待等）の解決をミッションとし、独自の産後ケアプログラムの提供によって、最も不安定にある産後の母親とその家族を支援している。本事業では、コロナ禍で平時以上にストレスフルな生活の中で、シングルマザーが心身ともに健康な状態を維持するためのセルフケアの機会を60分の「オンライン講座」という形で提供する。この講座は4月から既に実施しており、

			9月に終了予定であったが、継続を望む声が多いため、本10～12月も継続できるよう今回の申請を行う。 オンライン講座を通じて、日頃、自分の時間をもつ余裕のないシングルマザーが自身をケアする時間を持ち、シングルマザー同士が地域を超えてオンラインで交流することで、母親の身体的な健康と、精神的な安定をもたらす効果を目指す。
神奈川県横浜市	特定非営利活動法人青空保育ぺんぺんぐさ	¥2,000,000	当法人は、育児の孤立を防ぎ、のびのびと子育てをしたい親子のための居場所作りと保育事業を展開している。活動地域である横浜市は生活水準が高く通勤族も多いため、平時より育児の孤立化の傾向が顕著であり、コロナ禍においてさらに孤立化が進んでいる。 本事業では、地域に住む近隣の親子をつなぐ助けとなるような配布物の制作、オンライン「のびのび子育て講座」を実施する。 また、コロナの影響で閉鎖や利用制限のある公共施設を利用せずとも、子ども達の遊び場を提供できるよう、当法人の既存の活動場所の1つである畑の休憩小屋の改修・整備を行い、感染予防対策をしつつ、荒天時の避難場所として活用できるようにする。
宮城県石巻市	一般社団法人ワタマスマイル	¥2,000,000	当法人は、東日本大震災で被災した石巻を拠点に、被災者の生活支援や生きがいづくりの活動を行っている。特に、シングルマザーの就労支援、生活困窮家庭の子ども達への食事の提供、学習支援、不登校児の居場所づくりなどに取り組んでいる。本事業では、コロナの影響により休職や失業によって経済的困窮度が増している家庭を対象に次の活動を行う。 ① 「地域子ども食堂」の定期開催（コロナ感染予防対策を講じた上で6月より毎週土曜） ② ひとり親世帯や生活困窮世帯などに月2回食料支援を実施

			③ 子ども食堂を利用している子どもたちを中心に週 2 回 2 時間程度の学習支援活動 ④ 小中学校や石巻市子育て支援課、児童相談所と連携して虐待の恐れのある子どもの見守り、相談、ケア、防止ための啓蒙活動
秋田県 秋田市	特定非営利活動法人あきた結いネット	¥1,870,000	当法人は、様々な理由で自分の力だけでは望む生活を送ることができない生活困窮者、身寄りのない方への衣食住の提供や就労支援を行っている。本事業では、コロナ禍でさらに困難度を増す人たちを対象に、当法人が運営するシェルターを提供し、一人ひとりが自立できるまでのサポートを行う。具体的にはニーズの把握、アセスメント、支援方針の決定、モニタリング、フォローアップ等を訪問支援、面談支援、同行支援にて実施する。社会福祉士が中心となり他団体との連携を図り、ネットワークで支える仕組みを整えて行くことで、様々なケースに対応できる枠組みを構築する。
東京都 新宿区	特定非営利活動法人キッズ未来プロジェクト	¥2,000,000	当法人は、子どもへの虐待、子どもの貧困の連鎖のない社会を目指し、出産後・子育て中の女性への支援を行っている。また経済的困難を抱える子どもとその家族に対する食の支援も行っている。本事業では、コロナの影響で経済的困窮度を増す家庭に宅配で食材を届ける。民間からの食材の寄付を募り、ボランティアによる食材の箱詰め作業を行うことで、フードロスと経済的に困難を抱える家庭を支える。また様々な理由から居場所を特定されたくない家庭に配慮し、外部の宅配業者を通じて食材を届ける。
大阪府 吹田市	特定非営利活動法人ここ	¥2,000,000	当法人は、子どもがその子らしく育ち貢献できる場と教育の創造を目指し、虐待や貧困、いじめや発達障がい、精神疾患等によって不登校になった子ども達の学校外の学びの場としてフリースクールを展開している。本事業では、コロナ感染拡大防止による休校措置によって高まった虐待や家庭内暴力・自傷行為・自殺・昼夜逆転のリ

			スクを早期発見し解消することを目的とする。 各家庭に十分な支援を届けられるよう当団体と学校や教育委員会とで連携をしながら課題を早期発見し、苦登校や不登校の親子が孤立することのないよう適切な支援に繋げ復学や進学に繋げる。 具体的には、支援を必要とする不登校の子ども達への学習支援と居場所の提供、ならびに保護者の不安解消のための相談支援を行う。
神奈川県横浜市	特定非営利活動法人アレルギーを考える母の会	¥1,000,000	当法人は、アレルギー患者が健康を回復するために必要な医療や医療機関に関する情報提供、相談事業を中心に、学校や保育所、行政とも連携し、病態理解と支援を推進している。 コロナ禍で、慢性疾患であるアレルギーを持つ子どもたちが、定期受診と薬物療法の継続が必要であるにも関わらず、コロナ感染を恐れて受診抑制が続き、必要な薬剤の不足に伴う喘息の増悪、アトピー性皮膚炎の悪化が懸念されている。また子どもたちを受け入れる学校、保育所に対するアレルギーに関する研修の機会も失われており、環境整備の遅れが指摘されている。 そのため本事業では、電話、メールなどを通じて当会に寄せられる相談に対応し、アレルギー専門医と連携しながら、必要に応じて医療や医療機関情報の提供、リモート研修会の実施、当事者に寄り添う家庭訪問や施設に同行するといった活動を行う。
神奈川県足柄下郡	一般社団法人ユガラボ	¥2,000,000	当法人は、子どもから高齢者までの多世代が自由に過ごす「居場所」と多世代間が共に学び対話を行う「多世代共創塾」を提供している。 本事業では、湯河原町を拠点とし、コロナの影響による失業等で経済的に困難を抱えるひとり親世帯、就学援助世帯などに対して、子どもとその家庭への食材の宅配、オンラインによる見守りや相談、学習支援、ソーシャルカウンセラーとの連携によるメンタルケアを行う。

大阪府 大阪市	あさひ子ども見守りネットワーク	¥600,000	当法人は、大阪市旭区において、貧困と虐待の課題を抱える子どもの発見とその家庭への支援を目的として、子ども食堂の運営と子どもの居場所を提供している。これまで地域の集会所や他団体と共同で利用していた拠点は、コロナの影響で閉所となるなど活動の継続に多大な影響を与えている。本事業では、コロナ禍で経済的困窮や虐待リスクが高まっている、既につながっている家庭を対象に、コロナ感染防止対策を行いつつ、いつでも子どもたちが立ち寄れる新しい居場所拠点を整備する。また、ひとり親家庭、多子世帯を中心に毎月 25 世帯以上への食品配付を行う。さらに、食料配付を通じて繋がった家庭の個別相談を受け、生活保護の申請同行や、障がい者年金の情報提供などを行う。
東京都 豊島区	特定非営利活動法人 LightRing.	¥2,000,000	当法人は、子どもや若者の自殺や精神疾患の予防のために、啓発活動、社会体験活動、傾聴ボランティアの育成と運営事業等を行っている。 コロナ禍において、心の悩みを抱える人たちの増加が懸念されているが、全国で自殺対策に取り組んでいる民間団体の 8 割以上が、感染拡大によって活動の制限を余儀なくされている。本事業では、新型コロナの影響を受け増加する「子ども・若者の自傷行為や暴言・暴力行為による自殺防止」を目的として、心理的孤立を抱え、自殺の前兆行動を図る「子ども・若者」を対象に、日常生活の場で支える友人や知人など身近な相談相手となっている人々（以下、“ユースゲートキーパー”と呼称）を支援する活動を行う。具体的には、ユースゲートキーパー年間 30 名に対しプログラムを提供することにより、彼らのバーンアウトを防ぐ。 また、定期的にゲートキーパーに向けて継続的居場所提供による心理的サポートおよびコミュニティを創出することで、ゲートキーパー本人が悩みを打ち明けられる居場所を提供し、孤立

			しない仕組みづくりを行う。さらに、ユースゲートキーパーの抱える問題や必要とされる支援について、事例を収集してその実態を明らかにすることで社会への啓発活動につなげる。
栃木県 大田原市	一般社団法人えんがお	¥2,000,000	当法人は、「誰もが人とのつながりを感じられる社会」をビジョンとし、高齢者を中心に人が孤立しない地域づくりのために活動している。 コロナ感染拡大の影響を受けて、全国的に高齢者の外出の減少により認知機能や身体機能の低下などが報告されている。テレビ電話などの対策もあるが、独居高齢者の声を聞くと「よくわからない」という不安が強いことも多く、そばに都度説明してくれる人がいれば取り入れたいという声が多い。当法人ではオンラインの活用と並行して実際に人と会える機会の維持・再構築が重要だと考える。そこで本事業では、感染対策を徹底した上で、主に高齢者を対象にした地域食堂および宅食サービスの提供を、地域の人々とのつながりを作るサロンの拡大や屋外イベントの実施を行う。これにより、毎週の定期的な訪問が可能となり、見守りも含め、つながりの維持になる。また、高齢者だけでなく、これらの活動を生活困窮世帯にも広げ、多世代間に広げて、多くの人を巻き込んでいくことを目指す。
福島県 安達郡	一般社団法人ちろる	¥1,967,000	当法人は、福島県を中心とした地域福祉活動の向上を目的として、避難者支援、高齢者支援、地域コミュニティ支援、ボランティア支援、障がい者支援、生活困窮者支援、直売所との連携や農業に関連する事業を展開している。コロナの影響による長期間の自粛生活によって、高齢者の身体機能の低下や、他者との交流が減少したことによる認知機能の低下が多くみられてきている。 本事業では、高齢者宅の戸別訪問を行って傾聴活動や個別機能訓練を実施し、メンタルヘルスと身体機能の向上を図る。また週に1回は集会

			施設に集ってもらい、参加者全員で出来る軽体操やレクリエーションを行うのと同時に、他者との交流機会の増加を図り、自分が出来る事を増やし、元気な高齢者を増やす。
東京都千代田区	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	¥2,000,000	当法人は、障がいのある人や生きにくさを抱えている人たちとともに、主に芸術文化活動を通じたセルフケア・交流・社会参加支援を行っている。これまで障害児者にとってミュージアムなどの文化施設は、余暇の楽しみのひとつであったが、コロナ禍ではこうした文化的で豊かな営みに直接参加することができなくなっている。with コロナにおける新しいスタイルとして、オンラインによる文化的な学びの機会は急速に広がり、場所を問わず発信・参加・交流が可能となったが、大多数の障害児者は、情報弱者（要支援者）となっている場合が多い。そこで本事業では、ミュージアムなどの文化施設と障害児者や外出困難となっている人たちをつなぎ、生きる力に寄り添う「アクセスアートプログラム・オンライン」を実施する。対象とする人たちは、身体障害（肢体/視覚/聴覚）・知的障害・発達障害・精神障害児者、また病気などの理由により鑑賞の場に出かけられない人、対面の場が苦手な引きこもりの人なども含む。
東京都新宿区	公益社団法人シャンティ国際ボランティア会	¥1,987,716	当法人は、国内外において教育・文化活動を通じた国際開発協力活動を行っている。国内では、被災地での緊急救援を行うとともに、災害を経験した子ども達同士の交流プログラムや災害後の復興を学ぶプログラムの提供などを行っている。本事業では、主に外国にルーツを持つ子ども達を対象とした支援を行う。新型コロナの影響で学校が休校となり、外国ルーツの子どもたちは日本語が十分理解できず、地域でのつながりも少ない中で孤立を深めている。また、入学式以来友人を作る機会がなく、一人で過ごすことが多い子どもたちも存在している。こうした子ど

			も達に対して、孤立の解消・ストレス緩和を目的に、オンラインでプログラム提供を行う。具体的には、外国ルーツの子どもたちが毎回のテーマに沿ったグループワークを行い、他者とつながる機会や社会問題について一緒に考える居場所を提供する。新型コロナが終息し、施設での活動が可能となった際には、地域の廃校校舎を利用して新型コロナ対応を盛り込んだ居場所づくりも行う。
東京都 中野区	LGBT ハウジングファーストを考える会・東京	¥1,660,000	当法人は、LGBT 当事者や生活困窮者を対象にシェルターを提供し、医療や行政機関との連携、就労支援等を行い、社会復帰に向けた伴走支援を行っている。全国的にコロナ禍自粛要請の影響による収入の減少により、住まいを失う LGBT 当事者が増え、シェルターへの入居を求めるニーズが高まるとともに、生活困窮から自立していくにあたり、人的なサポートへのニーズも増加している。 本事業では、新しく追加整備するシェルターにおける感染予防資材の購入及びオンライン環境を整備し、感染予防対策を充実させ、利用者・支援者の安全を図る。また、シェルターの増設に伴い必要となる、ソーシャルワーカーなどの専門家と連携し自立支援のための人員体制を強化する。さらに、LGBT 当事者や生活困窮者を支援するための横のつながりを強化するために、多分野の協力団体を増やし、連携会議を開催する。また、全国から寄せられている LGBT 当事者からの相談に対応できるよう、全国の LGBT 当事者が必要とする支援窓口や支援団体の情報を収集し状況を把握する調査活動を行う。

③ 文化・芸術・スポーツ分野：

劇団等の芸術団体、企業、NPO など 54 団体と、アーティスト、パフォーマーなど個人 126 人から応募があった。イベントや演奏会、部活動などの自粛などの逆風のなかで、オンライ

ンを活用したパフォーマンスや動画配信などを中心に、心の孤立を防ぐもの、新たな芸術やスポーツの可能性を模索するものが寄せられた。

これまでの実績や、文化・芸術・スポーツ活動の存続や再開に向けた活動になっているか、今後の社会における心と身体のゆたかさの回復・向上に貢献するか、などの視点から審査を行い、以下の団体 4 件、個人 23 件を採択した。

採択件数 4 件、助成総額 8,000,000 円

所在地	申請団体名	助成金額	申請事業概要
東京都 渋谷区	一般社団法人グローバル アスリートプロジェクト	¥2,000,000	スポーツを通じて、将来スポーツ界にとどまらず様々な分野において、世界を舞台に活躍できる日本人を育てることをミッションに活動している。新型コロナの影響で、子ども向け英語サッカースクールなどの休校や休会、退会やキャンプなどのイベントの中止が相次いだため、全てのスクールをオンラインレッスンに切り替え、独自の英語学習プログラムを確立した。このカリキュラムを、小学校の先生や学童保育、他サッカースクールなどの教育関係者やスポーツ関係者にオンラインにて一部無償解放する。
京都府 京都市	株式会社おもれい	¥2,000,000	高校生の部活動を支援している。新型コロナの流行で部活動が中止になり、高校生は目標としていた引退試合・コンサートも出来ずに卒業することになる。 そこで 3 年生が参加可能な引退試合・イベントを企画し、各競技の楽しさを味わえる機会を提供する。 他の学年の生徒には衛生面に配慮した練習方法、大会運営などについて学べる機会を提供したり、新入部員の勧誘・サポート、部費調達など、今後の運営が継続して行える仕組み作りのノウハウ提供も行う。
宮崎県 五ヶ瀬 町	G 音楽たい	¥2,000,000	宮崎県最北端の、芸術文化がなかった地域に音楽を根付かせるために 10 年前に設立した。演奏会や楽器体験会が開催できなくなり、地域の中学生や高校生の最高学年の学生は演奏する唯一の機会がなくなってしまった。そのため、元々実

			施する予定であった 10 周年記念演奏会を巡回公演として範囲を拡大して実施し、中学及び高校の 3 年生を公募してトッププロを交えた演奏会を行う。
神奈川県横浜市	特定非営利活動法人心魂プロジェクト	¥2,000,000	病院・施設・難病の活動団体など、劇場に行くことが難しい方々に対するミュージカルやライブなどの公演、ミュージカルワークショップなどを実施している。病児者・障がい児者・ご家族・関係者の皆様に行ってきたイベントや今年から始める予定だったイベントは全て中止(今年度分)となり、感染症にシビアにならざるを得ない様々な病気・障がい・疾患を持つ各家族の《心の孤立化》が始まっている。 中止となったイベントを全て生配信に切り替え、季節の移り変わりを同じ境遇にある他の皆様と県や国を越えて共有し、交流することで新たなコミュニティを生み出し、新型コロナ流行期の心の孤立化を防ぐことを目指す。

採択件数 23 件、助成総額 6,900,000 円

所在地	申請者名	申請金額	職業
東京都	柳生二千翔	¥300,000	作家、演出家、映像作家
東京都	増田沙織	¥300,000	Gallery 子の星 Owner Director
石川県	宝栄美希	¥300,000	ダンサー/振付家
群馬県	飯塚花笑	¥300,000	映画監督・脚本家
埼玉県	小鷹拓郎	¥300,000	アーティスト
京都府	奥中章人	¥300,000	美術家
東京都	林家楽一	¥300,000	紙切り師
東京都	コハーン	¥300,000	音楽家
東京都	杉山純じ(しむじゃっく)	¥300,000	演出家・演技講師・演劇制作者

愛知県	浅井信好	¥300,000	舞踏家・振付家・演出家・芸術監督
埼玉県	韓成南	¥300,000	映像作家、アートディレクター、キュレーター、翻訳・通訳者
東京都	祁答院 雄貴	¥300,000	演劇
山梨県	松岡大	¥300,000	舞踏家
東京都	角口圭都	¥300,000	音楽家 クラシックサクソフォン奏者
大分県	西松秀祐	¥300,000	アーティスト / 美術
新潟県	ノガミカツキ	¥300,000	現代美術家
神奈川県	couch	¥300,000	アーティスト 美術家
岡山県	秋山しのぶ	¥300,000	舞台芸術企画、コンクール主催
兵庫県	橋本昌彦	¥300,000	アーティスト
東京都	中原和樹	¥300,000	演出家・脚本家
千葉県	戸塚愛美	¥300,000	キュレーター、アートマネージャー
北海道	五十嵐翔	¥300,000	音楽（演奏家、作編曲、指導者）、マーケティング（指導者、演出家）
愛知県	北條知子	¥300,000	アーティスト

④ 中小企業分野：

本分野では、障害者、女性、若者の雇用促進や社会貢献に取り組んでおり、新型コロナウイルスの感染拡大によって経済的影響を受けた中小企業および個人事業主に助成した。中小企業 41 社と個人事業主 35 件の応募があり、そのほかに【特別枠】として宿泊業分野の中小企業 6 社、個人事業主 3 件から応募があった。新型コロナで被ったダメージが大きい、経営努力がなされている、事業を通じて社会や地域に貢献しているなどの観点から審査を行い、以下の中小企業 17 社、個人事業主 7 名、宿泊業を営む中小企業 5 社を採択した。

採択件数 17 社、助成総額 16,731,000 円

所在地	申請団体名	業種	申請金額
-----	-------	----	------

東京都渋谷区	株式会社ローランズ	専門サービス業	¥1,000,000
沖縄県国頭郡	株式会社ローカルランドスケープ	食料品製造業	¥1,000,000
京都府京都市	株式会社はいせつ総合研究所	その他の小売業	¥1,000,000
沖縄県浦添市	有限会社おきなわ教育ラボ	その他の事業サービス業	¥1,000,000
東京都渋谷区	株式会社 ELDNACS	その他のサービス業	¥1,000,000
山梨県甲府市	アロンジェ株式会社	洗濯・理容・美容・浴場業	¥1,000,000
山梨県南アルプス市	合同会社ズーパーズース	情報サービス業	¥1,000,000
宮崎県宮崎市	合同会社 さくら	社会保険・社会福祉・介護事業	¥1,000,000
北海道札幌市	産後ケアハウス さんさん助産院	医療業	¥750,000
沖縄県宜野湾市	株式会社 海屋	その他の事業サービス業	¥1,000,000
東京都台東区	株式会社 デイリー・インフォメーション	広告業	¥1,000,000
福岡県福岡市	株式会社 デイリー・インフォメーション九州	広告業	¥1,000,000
兵庫県神戸市	株式会社 Quattro	映像・音声・文字情報制作業	¥1,000,000
東京都新宿区	株式会社 笑下村塾	その他の教育、学習支援業	¥1,000,000
東京都中央区	株式会社 And Nature	その他の教育、学習支援業	¥1,000,000
東京都千代田区	アジアサービス株式会社	飲食店	¥1,000,000
東京都新宿区	株式会社 ツー・スリー	広告業	¥981,000

採択件数 7 件、総助成額 1,986,440 円

所在地	個人事業主名	業種	申請金額
奈良県宇陀郡	山浦農園	農業	¥186,840
東京都港区	K & Associates International	その他の事業サービス業	¥300,000
神奈川県綾瀬市	スタジオ ボレロ	専門サービス業	¥300,000
青森県西津軽郡	食べ物屋セイリング	飲食店	¥299,600
静岡県浜松市	Per Noi	繊維・衣服等卸売業	¥300,000
静岡県浜松市	大塚ゆかり	その他の生活関連サービス業	¥300,000

福岡県朝倉市	宴処 麦わら食堂	飲食店	¥300,000
--------	----------	-----	----------

採択件数 5 件、総助成額 5,000,000 円

所在地	個人事業主名	業種	申請金額
静岡県御殿場市	公益財団法人日本 YMCA 同盟国際青少年センター東 山荘	宿泊業	¥1,000,000
新潟県南魚沼市	株式会社 木の芽荘	宿泊業	¥1,000,000
北海道余市郡	株式会社 NIKI Hills ヴィ レッジ	宿泊業を含む複合サービス業	¥1,000,000
長野県下高井郡	株式会社 ブイカインター ナショナル	宿泊業	¥1,000,000
静岡県浜松市	株式会社 KST	宿泊業	¥1,000,000

◆第三回助成の概要

公募期間：9月29日（火）～10月13日（火）

書類審査：10月14日（水）～11月13日（金）

審査委員会開催日：11月12日（木）

① 医療分野：採択件数 4 件、助成総額 20,000,000 円

全国各地の医療機関や医療機関を支援する団体から、全 11 件の応募があった。医療機関においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組む事業の応募のほか、地域医療等の安定的提供のための設備拡充に対する応募が多く見られた。第一回・第二回目の公募に比べ、新型コロナウイルス感染症患者への治療・検査体制確立を行うというものに留まらず、それぞれの病院や団体が新型コロナウイルス感染症に対し、個別の状況に対し改善をはかるための事業の応募が多くあった。

組織の信頼性、これまでの実績や申請事業の明確さ、緊急性などに鑑み、以下の 4 件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業の概要
東京都 文京区	国立大学法人 東京医科歯科 大学 歯学部 附属病院	¥5,000,000	院内感染のリスクを回避し、患者に安心して歯科診療を受けてもらうため、歯科医師等はマスク、グローブ、プラスチックガウン、フェイスシールドという感染防護具を着用し、治療にあたっている。さらに患者の診療ごとに除菌シート等による診療チェアユニットの清掃を行い、診

			療ユニットの間に間仕切りを設置する等、感染対策を徹底している。感染防護具についても患者一人ごとに交換するなど、感染予防をより一層強化し、安心して歯科治療を受けることができる環境の整備を目指す。
長野県 須坂市	医療法人 公 仁会	¥5,000,000	インフルエンザの流行時期を前に、新型コロナウイルス感染症による症状とインフルエンザの症状とを見極め、前者による患者は近くにある当病院との連携病院である県立病院に紹介し、早期治療を図る。その検査を通常の患者とは別ルート、別室で行い、隔離が出来るように整備を行う。また、ケースによっては、その場所で人工呼吸器や心電図も図れる対応も併せておこない、院内での感染から患者及びその家族、職員を守るための事業を行う。
熊本県 熊本市	熊本赤十字病 院	¥5,000,000	(1) 重症患者用医療機器の整備 新型コロナウイルス感染症重症患者の受入を継続的に実施するため、重症患者管理のために必須となる高度医療機器（生体情報モニターおよび医用テレメータ）を追加整備する。 院内の重症患者受入体制を強化することによって、更なる感染症の大流行に備え、救急医療の砦として、地域の医療崩壊を防ぐ。 (2) 感染対策用パーテーションの整備 新型コロナウイルス感染症患者および疑い患者対応スペースや有熱者の待機エリア、医療スタッフ用宿泊スペース等として、迅速にプライベート空間を設置することが可能な感染対策用パーテーションを整備する。 然災害発生時には、このパーテーションを避難所に設置することで、被災者の感染予防に役立てることができる。基幹災害拠点病院として、院内の感染対策に留まらず、熊本県内および全国の被災地への支援にも備える。
岐阜県 岐阜市	地方独立行政 法人 岐阜県 総合医療セン ター	¥5,000,000	新型コロナウイルス感染症の重症患者へ対応するため、患者の生体情報を各種検査等への移動時なども含め常時モニターするための機器拡充を行う。また人工呼吸器から離脱後に管理を適切に行うことで、より安全な医療を効率的に提供していく。

② 福祉・教育・子ども分野：採択件数 4 件、助成総額 6,038,000 円

全国の福祉施設や NPO 等から、全 53 件の応募があった。長期化する新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、給与の減額や失業等により、もともと脆弱であった層の困難度が増している。困窮度合いが深刻化している子どもやその家族、若者、社会的弱者を支援する応募が多くみられた。また、フードパントリーや食料支援といった経済的困窮に対する支援だけではなく、社会的孤立を防ぎ、精神的ケアを行う、相談窓口の設置やアウトリーチ型の相談支援や訪問支援といった、オンラインだけではない、寄り添い型の支援活動の応募も多数みられた。

組織の信頼性、これまでの実績に加え、受益者のニーズを確実に捉えているか、実現可能な計画になっているか、などの視点から審査を行い、以下の 4 件を採択した。

所在地	申請団体名	申請金額	申請事業概要
福岡県 福岡市	特定非営利活動法人 SOS 子どもの村 JAPAN	¥1,400,000	本事業は、育児に困難を抱える家族が「子どもショートステイ（以下、子ども SS）」を早期にかつ抵抗なく利用する事により、児童虐待等を予防する事を目的にする。特にコロナ禍による外出自粛生活の影響により顕在化してきた家族の困難な状況や、第 2、3 波の中での困難の拡がりも視野に入れ、今後、ショートステイの利用が必要となることが予測される。よって本事業では、次の 2 点に取り組む。1 つは、あらたにショートステイ専用ハウスを 1 棟増設し、職員も増員することで受入れ体制を強化する。もう 1 つは、ショートステイの認知度を高め、潜在的ニーズを掴むために、広報活動を強化する。
静岡県 静岡市	特定非営利活動法人 P O P O L O	¥1,138,000	長期化する新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、給与の減少や失業などによって生活困窮に陥り、自助努力だけでは状況を脱することができない状況にある。本事業では、こうした困窮家庭と繋がるために、子ども食堂、母子寡婦福祉会、国際交流協会、生活困窮者支援団体、女性支援団体などと連携し、食品の提供を行うとともに、SNS や LINE チャットを活用した相談体制によって、これまで繋がれなかった世

			帯にリーチする。繋がった世帯と行政の既存の相談窓口と連携するなど、関係性構築の橋渡しに取り組む。
愛媛県 新居浜市	特定非営利活動法人 e ワーク愛媛	¥1,500,000	長期化する新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、困難を極めるひとり親世帯や高齢者、障がい者等、生活に困難を抱える人たちを対象に、近隣市の社会福祉協議会、シングルマザー支援団体などと連携し、食料支援を行うとともに、地域密着型で見守り・伴走型の支援を継続して行う。
東京都 豊島区	特定非営利活動法人 サ ンカクシャ	¥2,000,000	本事業では、親や身近な人を頼ることができず、支援につながりにくい子ども若者を見つけ出し、伴走支援を提供し、本人のニーズに合わせ、適切な社会資源をつなげ、孤立を予防し、自立へのサポートを行う。主に、義務教育終了のタイミングで支援が途切れてしまう 15 歳から 25 歳くらいまでの子どもや若者を対象に、行政や地域の支援者と連携し、サポートを行う。また、家から出ることができない、居場所などに行くことができない若者に対して家庭訪問や個別のサポートを行う。さらに、地域住民と連携した居場所作りや、大学や地域住民と連携し、訪問支援や個別支援ができる支援者を育成する。

③ 文化・芸術・スポーツ分野：

地域の文化振興を担う NPO やイベント・コンサートの企画・運営を担う企業など 9 団体と、演劇や美術、音楽の分野で活躍するアーティストやパフォーマーなど個人 34 人から応募があった。舞台や展覧会、演奏会等の自粛という逆風のなかで、オンラインを活用したパフォーマンスやライブの動画配信、ワークショップの開催などを中心に、新たな文化・芸術・スポーツの可能性を模索するものが寄せられた。

これまでの実績や、文化・芸術・スポーツ活動の存続や再開に向けた活動になっているか、今後の社会における心と身体のゆたかさの回復・向上に貢献するか、などの視点から審査を行い、以下の個人 12 件を採択した。なお、今回は団体の採択はなかった。

採択件数 12 件、助成総額 3,595,826 円

所在地	申請者名	申請金額	職業
東京都	高野菜々	¥296,750	俳優
千葉県	森下大輔	¥299,076	写真家
神奈川県	野口健吾	¥300,000	写真家
東京都	井上直子	¥300,000	舞台演出家
東京都	大野哲二	¥300,000	音楽家
東京都	武田 努	¥300,000	音楽家
大阪府	富田一樹	¥300,000	オルガニスト
神奈川県	小林清明	¥300,000	音楽家
東京都	木村佳代子	¥300,000	サクソプレイヤー
東京都	小森康弘	¥300,000	指揮者
神奈川県	好士崎かおり	¥300,000	民謡歌手・演奏家
東京都	平井真奈	¥300,000	俳優・歌手

④ 中小企業分野：

本分野では、障害者、女性、若者の雇用促進や社会貢献に取り組んでおり、新型コロナウイルスの感染拡大によって経済的影響を受けた中小企業および個人事業主に助成した。中小企業 5 社と個人事業主 2 件の応募があり、そのほかに【特別枠】として宿泊業分野の中小企業 1 社、個人事業主 1 件から応募があった。応募件数が前回の 85 件から 9 件に激減したのは、政府が行う Go To キャンペーンの影響があったことが考えられる。

新型コロナで被ったダメージが大きい、経営努力がなされている、事業を通じて社会や地域に貢献しているなどの観点から審査を行い、以下の中小企業 5 社、宿泊業を営む中小企業 1 社および個人事業主 1 件を採択した。

採択件数 5 社、助成総額 5,000,000 円

所在地	申請団体名	業種	申請金額
-----	-------	----	------

岐阜県多治見市	特定非営利活動法人 Mama's cafe	飲食店	¥1,000,000
北海道札幌市	合同会社 服部商店	飲食店	¥1,000,000
静岡県富士宮市	株式会社ホールアース	その他の生活関連サービス業	¥1,000,000
神奈川県横浜市	日本ミャンマー支援機構株式会社	職業紹介・労働者派遣業	¥1,000,000
沖縄県那覇市	株式会社 FONTE	飲食店	¥1,000,000

宿泊業（個人事業） 採択件数 1 件、総助成額 300,000 円

所在地	個人事業主名	業種	申請金額
静岡県御殿場市	マンテングストハウス	宿泊業	¥300,000

宿泊業（中小企業） 採択件数 1 件、総助成額 1,000,000 円

所在地	個人事業主名	業種	申請金額
岐阜県飛騨市	株式会社 美ら地球	宿泊業	¥1,000,000

＜民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律に伴う事業＞

民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律に基づき、指定活用団体である一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）により、弊財団は 2019 年度通常枠としてすでに選定済の 2 事業（「子ども支援団体の組織基盤強化（草の根活動支援事業・全国ブロック）」および「支援付住宅建設・人材育成事業（ソーシャルビジネス形成支援事業）」）に加え、2020 年度通常枠および 2020 年度緊急支援枠の資金分配団体として選定された。助成対象となった事業は「中核的フードバンクによる地域包括支援体制」（イノベーション企画支援事業）、「コロナ禍の住宅困窮者支援事業」（新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業）である。

① 子ども支援団体の組織基盤強化

本事業は、子ども支援に取り組む団体（実行団体）が組織基盤強化事業に取り組むことを支援することで、支援ニーズのある子どもを対象としたプログラムを提供する NPO の組織力を高めることを目指す。その結果、支援プログラムやサービスの量や質が向上し、5～10 年後には最終受益者である子どもの状況が改善される社会環境となっていくことを目標にするものである。

2020 年度は 2020 年度分の助成金及びコロナ緊急の交付を行い、実行団体の 1 年目の助成事業の伴走支援および 2021 年度の継続審査を行った。なお、本事業の実施期間は 2022 年

度までとなる。

受入助成金額	81,686,819 円（3年間総額、P0関連経費、評価関連経費含む）
助成額	45,532,800 円（3年間総額、評価関連経費含む）
継続審査会	2021 年 3 月 2 日
審査委員	中村 陽一（立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 教授） 河合 将生（office musubime 代表） 森本 真也子（特定非営利活動法人 子どもと文化全国フォーラム代表 理事、特定非営利活動法人 子ども文化地域コーディネーター協会 専 務理事）
実行団体	特定非営利活動法人 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい 認定特定非営利活動法人 発達わんぱく会 認定特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル 一般社団法人 無限
実行団体 事業実施期間	2020 年 4 月 ～ 2023 年 3 月

② 支援付住宅建設・人材育成事業

本事業は、2020 年 4 月から政府が実施する「貧困ビジネス対策と、単独での居住が困難な方への生活支援」制度を活用し、無料低額宿泊所の新基準に対応する建設費用等を助成すると同時に、質の高い生活支援人材の育成を通じ、「住まい」と「生活支援」をセットで提供するソーシャルビジネスのビジネスモデルの構築を支援するものである。

2020 年度は公募・審査・選定・助成金の交付を行い、実行団体の 1 年目の助成事業の伴走支援を行った。なお、本事業の実施期間は 2022 年度までとなる。

受入助成金額	244,084,451 円（3年間総額、P0関連経費、評価関連経費含む）
助成額	197,470,587 円（3年間総額、評価関連経費含む）
公募	2020 年 4 月 1 日～2020 年 5 月 29 日
応募件数	8件
審査会	2020 年 8 月 20 日
審査委員	高橋 紘士（東京通信大学教授、一般財団法人高齢者住宅財団顧問）

	宮島 俊彦（岡山大学客員教授、日本薬業連合会理事長） 井上 由起子（日本社会事業大学専門職大学院教授） 柴沼 俊一（株式会社シグマクス常務執行役員） 小野田 峻（小野田高砂法律事務所代表）
実行団体	特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会 特定非営利活動法人抱樸 特定非営利活動法人ワンファミリー仙台
事業実施期間	2020 年 11 月 ～ 2023 年 3 月

③中核的フードバンクによる地域包括支援体制

本事業は、地域の食支援ネットワークの中核となる団体の基盤強化を行い、継続的な食品・資金調達につなげ、地域のフードバンク、子ども食堂、フードパントリー等と連携関係をつくることを通じ、県域レベルの包括的な食支援の体制構築を目指す。ネットワークを組成する各種食支援団体によって支援を必要とする世帯に支援が届くのみならず、支援対象者が食に欠く状況から脱し、それぞれの事情に応じた公的支援に繋がっている状態を目標とする。

2020 年度は実行団体の公募を実施した。審査・選定・助成金の交付及び助成事業開始は 2021 年度からとなる。なお、本事業の実施期間は 2023 年度までとなる。

受入助成金額	242,862,630 円（3 年間総額、P0 関連経費、評価関連経費含む）
助成額	178,500,000 円（3 年間総額、評価関連経費含む）
公募	2021 年 2 月 3 日 ～ 2021 年 3 月 26 日
応募件数	20 件
実行団体 事業実施期間	2021 年 7 月 ～ 2024 年 3 月

④コロナ禍の住宅支援事業

本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で住まいや居場所を失い、生活の立て直しが必要な人を対象に、「住まい」と「就労支援含む自立支援」をセットで提供する社会的事業構築を、住宅物件取得のための初期投資へ資金提供することで支援し、その後の持続可能な支援付き住宅提供システムの構築を目指す事業である。

2020 年度は資金分配団体としての選定を受け、JANPIA との資金提供契約を締結した。審査・選定・助成金の交付及び助成事業開始は 2021 年度からとなる。なお、本事業の実施期

間は 2022 年 3 月末までとなる。

受入助成金額	502,999,762 円（管理的経費、PO 関連経費含む）
助成額	425,000,000 円
実行団体 事業実施期間	2021 年 9 月(予定) ～ 2022 年 2 月末

（２） 社会貢献活動についての情報提供、相談事業

社会貢献活動を促進したいと考える企業を対象に、以下の情報提供や成果評価を行った。

＜azbil みつばち倶楽部＞

Azbil みつばち倶楽部は、会員（アズビル株式会社の役職員の有志）が毎月 100 円を拠出して集めた寄附をもとに、会員が推薦する市民活動団体に対して資金支援をすることを目的としている。本年度は、アズビル株式会社と業務委託契約を結び、支援先の募集、受付、選定、連絡、報告書の取り寄せ、本プログラムへのアドバイス等を行った。

（３） 寄附を推進するための普及啓発活動等に関する事業

１）個人や企業等からの寄附を喚起するための事業

遺言や相続に関係する寄附やオリジナル基金の創設について説明する各種パンフレットの作成に取り組んだ。遺贈寄附推進のために全国レガシーギフト協会の「いぞうの窓口」として活動した。

（４） 社会的活動を行う団体等に対する助成事業

上記（４）は、（１）の事業において受け入れた寄附を活用する事業である。いずれの事業においても、広く対象を募集し、社会的活動や各種の公益活動分野に関して知見のある有識者で構成された委員会による公平かつ厳正な審査を経て選定を行う。（４）の助成事業については、（１）の事業で記載した。

（５） 社会的活動を行う団体等に対する表彰・顕彰事業

＜「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞＞

本賞は、アメリカ在住の日本出身女性、厚子・東光・フィッシュの提案により、創設され

た。フィッシュ・ファミリー財団と業務委託契約を結び、本賞の実施を担った。超高齢社会、大災害、子どもの貧困、地域社会の疲弊など様々な課題に対して、勇気をもって自ら行動を起こし、地道に活動を続け、地域社会の課題解決や新たなシステムの構築に取り組んできた女性たちを表彰すると同時に、その活動を広く知らせ、受賞者の志、知恵やアイデアをより多くの女性と共有し、後につなぎ、より良い社会を築くための社会貢献活動の意義と喜びを広める事を目指している。

公募	2020 年 7 月 28 日～8 月 31 日
応募	164 件
選考会	一次選考会：2020 年 11 月 5 日 最終選考会：2020 年 12 月 2 日、3 日
選考委員	厚子・東光・フィッシュ（フィッシュ・ファミリー財団 共同創設者・理事）※審査委員長 鵜尾 雅隆（特定非営利活動法人 CANPANセンター 代表理事） ダニエル・ペレル（ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク 社長） 山田 泰久（一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事） 吉岡 マコ（NPO法人マドレボニータ 代表） 龍治 玲奈（日本マイクロソフト株式会社 法務政策企画統括本部 渉外・社会貢献課長）
選考結果	<大賞> 西 クレオニセ（エスコーラネクター 校長） <入賞> 岡田 沙織（NPO法人 若者メンタルサポート協会 理事長） 染矢 明日香（NPO法人 ピルコン 理事長） 寺原 真希子（一般社団法人MarriageForAllJapan -結婚の自由をすべての人に 代表理事） 渡部 カンコロongo 清花（NPO法人WELgee 代表）
表彰式	2020 年 12 月 7 日
表彰内容	<大賞> 正賞（ティファニー社製カップ）と副賞 100 万円 <ファイナリスト> ティファニー社製の記念品と賞金 25 万円

（６） 社会的活動を行う団体等に対する寄贈事業

＜AED・地域あんしん基金＞

キヤノンマーケティングジャパン株式会社と共同で「AED・地域あんしん基金」を設立した。本基金はご寄附をもとに、多くの市民が利用する公共施設や福祉施設に AED を寄贈し、災害時などに避難所となることが想定される施設などに設置することを目的としている。運営管理はパブリックリソース財団が行い、キヤノンマーケティングジャパン株式会社は募金活動の協力および AED の設置、講習インストラクターの派遣を行う。

本年度は、1 件合計 400,000 円の寄附を受け入れた。

審査委員会で応募 1 団体を審査し、1 団体に寄贈を決定した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、寄贈は 2021 年度に持ち越すこととする。

受入寄附金額	400,000 円
寄贈台数	1 台
公募	財団ホームページ上で随時受け付け
応募件数	1 団体
審査会	2020年12 月（メールによる持ち回り審査）
選考委員	浅野 幸子（早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」 招聘研究員） 市瀬 敬子（NPO法人世田谷福祉住環境コーディネーター研究会 理事長） 前田 幸博（キヤノンマーケティングジャパン株式会社 CSR本部CSR推進部） 山崎 富一（特定非営利活動法人笑顔せたがや 理事・事務局長）
AED寄贈先 選定結果	1 団体を決定。 認定特定非営利活動法人 エデュケーションエークューブ

＜株主優待活用プロジェクト＞

一般社団法人ギビングフォワードと協働で取り組んだプロジェクトで、放棄されたり有効に使われたりしていない株主優待品を現物寄附として受け取り、社会貢献に取り組む民間非営利団体等に寄贈した。

受入寄付金額	4,101,221円（現物寄附）
寄贈金額	3,478,325円

（７） 社会的活動を行う団体等に対する研修事業

NPO 法人の経営力・信頼性の向上を支援することを目的に、以下の研修事業を実施した。

１）NPO のマネジメントコンサルティングの実施

＜特定非営利活動法人 ESA アジア教育支援の会＞

ESA アジア教育支援の会が Panasonic NPO サポート ファンドの支援を受け、弊財団にマネジメントコンサルティングを業務委託した。弊財団では、2019 年度から引き続き組織診断のコンサルティングを実施した。

契約期間：2020 年 1 月 18 日 ～ 2020 年 8 月 31 日

コンサルティングの内容：組織診断

＜認定特定非営利活動法人 SOS 子どもの村 JAPAN＞

SOS 子どもの村 JAPAN が WAM 助成モデル事業からの助成を受け、「困難を抱えた家族への里親による地域養育支援の仕組みづくり事業」を実施するにあたり、伴走支援を行うことを、業務受託した。

契約期間：2019 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日

コンサルティングの内容：進捗管理と自己評価の伴走支援

＜「国際協力 NPO 基盤強化支援事業」への協力＞

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会が行う、「2020 年度国際協力 NPO 基盤強化支援事業」において、支援先の 2 団体に対する「NPO マネジメント診断シート」の提供および回答の集計と、活用方法についてのレクチャーを行った。

レクチャー実施日：2020 年 4 月 17 日

回答期間：2020 年 4 月 17 日 ～ 2020 年 5 月 7 日

２）NPO マネジメントに関する講座の運営および講師派遣

＜講師派遣＞

外部セミナー等への講師派遣を 4 回行った。

（８） 調査研究、情報発信、政策提言に関する事業

１）Panasonic NPO サポート ファンド 2018 年に助成事業を終了した団体を対象とした

成果評価

パナソニック株式会社が企業市民活動の一環として実施する「Panasonic NPO サポートファンド」に関し、成果評価を行った。

評価対象は、2018 年に同ファンドによる組織基盤強化事業を終了した団体（対象団体：10 団体）である。本事業による資金提供及び非資金的取組みが、助成の受け手における組織基盤の強化、活動の充実による社会課題の解決の促進に与えた影響を検証した。また、組織基盤強化の手法として、組織診断を実施したことによる効果、および第三者によるコンサルティングの効果をはかった。

助成先団体の応募用紙・報告書類の分析、診断シートを活用した事前・事後の変化分析、助成先団体へのアンケート調査を行った。弊財団では、同社に対し報告書を提出した。

2) Panasonic NPO サポート ファンドの組織基盤強化助成の成果をはかる調査

同ファンドの 20 周年の節目に、これまでの組織基盤強化助成（環境、子ども、アフリカ分野）の成果評価を行い、2021 年 2 月に「環境分野・子ども分野 成果評価報告書 および アフリカ分野 調査報告書」をパナソニック株式会社に提出した。

以上